

# 作 業 学 習

# 目 次

○ 指導計画作成の立場 .....	191
○ 活用上の留意点 .....	192
○ 中学部題材一覧表 .....	193
○ 高等部題材一覧表 .....	194
○ 中学部指導計画	
・ 農耕・園芸 .....	195
・ 窯業 .....	199
・ 木工 .....	202
・ 家庭 .....	205
○ 高等部指導計画	
・ 農耕 .....	210
・ 窯業 .....	215
・ 木工 .....	220
・ 調理・縫製 .....	225
・ 印刷 .....	232
・ 共通 .....	239

## 1. 指導計画作成の立場

### (1) 基本的な考え方

作業学習では、将来、社会における職業人としての資質を養うことを重視している。本校においては障害の程度が次第に重度化してきており自立的生活をめざした作業学習のあり方として、知識や技能を身につけさせるというよりも、特に態度面に重点を置き、人格形成としての働く人づくりに作業学習のねらいを置く。

作業学習においてはそれぞれの特性や能力に即応して実際活動を経験させることによって、成就感満足感を味わわせることができる。また、将来自立的な生活を営むうえで必要な基礎的な知識と技能や勤労を重ねる態度を身に付けさせることにより社会生活に参加していく能力を培う場として意義深い。

こうした望ましい成長発達を図ることをねらいとして、「職業・家庭」「職業」「家庭」を中心に各教科、道徳、特別活動及び養護・訓練に関する内容を合科統合した形で扱い、より実際的な能力や態度を養う場とするものである。なお、小、中、高の一貫性を図る立場から、各学部においては、作業学習について次のように考える。

#### ① 小学部の考え方

作業学習の時間は特設しないが、遊びや日常生活の指導、生活単元学習、教科等の全教育活動の中で、道具に触れさせたり、仲間と協力し合う場を多く設定し最後までがんばりとおす態度を養うとともに、身近生活の確立及び習慣化を図り中学部の作業学習への移行となるように配慮する。

#### ② 中学部の考え方

作業学習を中核的な指導の形態のひとつとして位置づけ、年間に数種類の作業種目を経験させることにより作業に興味、関心をもたせ作業に対する積極的な参加の態度を培う。

また、道具の取り扱い、整理整頓、役割分担などを通して喜んで働く態度や協力して根気強く仕事を継続する習慣を身につけさせる。さらに、実習を通して働くことの意義を体得させ高等部の作業学習への移行とする。

#### ③ 高等部の考え方

作業学習を教育課程の中核として位置づけ共通学習とコース別の作業種目を設定する。

また、学習グループは生徒個々の特性や適性をよく見極めて編成し、年間を通して同一作業種目での作業経験をさせる。なお、家庭生活や社会生活及び職業生活における人間的資質と基礎的な作業遂行能力の育成を目指し、現在及び将来の社会生活に必要な知識、技能態度を養うことを主なねらいとする。さらに、一定期間継続する校内実習や職場実習などから、集団生活への自立を目指して意欲的に活動する作業学習を充実するとともに社会生活への適応力を高めるようにする。

## (2) 目 標

- ① 実際の作業経験を通して職業生活及び家庭生活に必要な身辺処理，指示理解等の生活処理能力を高めるとともに基礎的知識，技能を身につけさせる。
- ② 作業活動を中心とする実際の経験を通して協力して仕事を最後まで果たす習慣を身につけさせ，勤労を重んじる態度を養い進んで社会生活に参加していく能力を培う。

## (3) 指導計画作成上の配慮事項

- ① 中学部では，年間を通した共通コースと，学期ごとのローテーションとする農耕・園芸，窯業，木工，家庭の4つのコースを設定し，指導計画を作成した。高等部では共通学習とコース別としての農耕，窯業，木工，印刷，調理・縫製の5コースを年間を通したコースを設定し，指導計画を作成した。
- ② 指導内容は，学習指導要領に示す各教科の具体的内容を選択し，生徒の実態に応じて弾力的に活用できるようにした。
- ③ 関連内容の欄は，各教科・領域の具体的内容から代表的なものを記入した。
- ④ 週あたりの時数は，中学部では8時間（共通コースー3時間，コース別ー5時間），高等部では10時間（共通学習ー2時間，コース別ー8時間）とし，年間35週で算定して題材に応じて時数配当をした。なお，この他に中学部では勤労体験学習を1週，校内実習を1週，高等部では校内実習及び職場実習を計6週設定している。

## 2. 活用上の留意点

- (1) 各学部の指導計画の始めに各作業種目での年間の題材配列を一覧表としてまとめている。
- (2) 教科，特別活動，道徳及び養護・訓練や合科統合の指導形態とを関連づけて活用する。
- (3) 学習の展開については，個々の能力や特性に応じて細案化する。
- (4) 指導内容については，学習グループの実態や生徒の能力に即応して弾力的に活用する。

中学部作業学習年間題材一覧表

月 種目	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
農耕・園芸	(タマネギのとり入れ) さつまいもの栽培 (P.196) 春まき草花の栽培 (P.195)				秋ま (レタス) (タマ 秋ま			き野 菜 の 栽 培 (P.197)				
								ネギ) き草花の栽培 (P.198) 腐葉土づくり 農具の手入れ				
窯業	茶器の製作 (P.199)				はしおきの製作 (P.200)			勤 務 体 験 小物入れの製作 (P.201)				
木工	花びんしきの製作 (P.202)				花びんしきの製作			本 験 立ての製作 (P.203) 本立ての製作				
家庭	台ふき・ぞうきん (P.205) 調理Ⅰ (P.207) 調理Ⅱ (P.208)				調理Ⅰ 調理Ⅱ			学 習 調理Ⅲ (P.209) 調理Ⅰ 調理Ⅱ				
共通	わ り ば し 入 れ							作 業				

高等部作業学習年間題材一覧表

月 種目	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
農 耕	普通作物の 春まき野菜 春まき草花 (サルビア, マ)	校	職	つまいも) (P. 210)	(トマト, ナス, キュウリ) (P. 214) 秋まき野菜の 秋まき草花の栽培 (パンジ ルド, 百日草) (P. 212)		職	校	(キャベツ, 白菜, 大根) (P. 213) デシコ, 球根 他) (P. 212) 土づくり, 農機具の整備 (P. 211)		
	栽培(さ の栽培 の栽培 リーゴー			栽培 ー, ナ							
窯 業	花 (P. )	内	場	作 (P. 215)	れんがの製 メダルの製作 (P. 217)		場	内	(P. 218) タイルの製作 (P. 219)		
	器 製 れんが			作(2)							
木 工	本立	実	習	う に 箱 の 製 作 (P. 220)	作 (P. 222) 状差しの製作 (P. 223)		実	習	もろふたの製作 (P. 224)		
	ての製			作							
調理 ・ 縫製	ぞうきん製 (P. 225)	実	習	調理Ⅰ (P. 226)	調理Ⅱ (P. 227)	染色による (P. 228)	実	習	調理Ⅲ (P. 230) 編み物 (P. 231)		
	作			小物							
印 刷	印刷作業の 準備 (P. 232)	実	習	刷 (P. 232)	賞状印刷 封筒印刷 年 (P. 234) (P. 235)		実	習	印刷 連絡用箋の印刷 (P. ) (P. 237) 印刷室の整備 (P. 238)		
	名刺印			賀状							
共 通	春野菜の植 (P. 239)	実	習	えつけ	わたしたち の身なり (P. 240) はしおきの製作 (P. 240)		実	習	冬の料理 (P. 242) 電気機器の 扱い方 (P. 241) 記念品の製作 (P. 242)		
	えつけ			家庭 取り							

中学部 農耕コース

題材	春まき草花の栽培	月(時数)	4月～7月(35時間)
目標	○ 春まき草花の栽培を通して、育苗の基礎的な知識・技能を育てるとともに、草花に対する興味・関心を高め、植物を育て愛する気持ちや態度を培う。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 春まき草花の育苗について話し合う。 (1) 苗の種類を決める。 ・ サルビア, マリーゴールド (2) 栽培計画を立てる。 ・ 育苗方法と作業内容  2. 種まきをする。 (1) 育苗箱を準備する。 (2) 床土を入れる。 (3) 種子をまく。  3. 育苗箱の管理をする。 (1) 生育のようすを観察する。 (2) かん水をする。 (3) 間引きをする。  4. 移植をする。 (1) 苗床を作る。 ・ 腐葉土入れ, 除草, 堆肥 (2) 移植をする。  5. 栽培管理をする。 ・ 日射, 温度, 水などの条件  6. 苗上げをし, 販売準備をする。 (1) 苗袋を作る。 (2) 苗を袋に入れる。  7. 販売する。  8. 花園に定植をする。 ・ 除草, 中耕, 追肥など  9. 反省をする。	○ 草花には, 春まき, 秋まきなどの種類があることを, 図鑑やスライドを見せることによって気づかせる。  ○ 作業内容については, 子どもたちのこれまでの経験の中から発表し計画表に入れるようにする。  ○ 育苗箱は, 底に穴をあけ, 水がたまらないように注意させる。  ○ 浸種は, 前日しておく。  ○ 種子が一箇所に固まらないように砂と混ぜ合わせてまく。  ○ 水の量や間引きの数については指示を与えながら行わせる。  ○ 床土は, 子どもたち自身が作った腐葉土を利用させ, 土作りの大切さに気づかせる。  ○ 苗の取り扱いに気をつけ, 根を痛めないようにさせる。  ○ 水かけの時間帯や係を決めさせ交替制で行わせる。  ○ 苗袋の準備や袋詰めは, 分担作業を行わせ, 個々の役割がきちんと果たせるよう助言や介助をする。  ○ 中耕(増し土)や除草の活動を中心に行わせる。  ○ 苗販売の集計活動を通して, 働くことの意義を理解させる。	・スライド  ・図鑑  ・栽培計画表  ・草花の種子  ・育苗箱  ・じょうろ  ・ビニールポット  ・苗袋  ・一輪車  ・移植ごて  ・肥料	・生Ⅲ 9-2 ・理Ⅳ-2 3  ・職Ⅳ-1  ・職Ⅳ-3  ・職Ⅳ-4  ・職Ⅳ-2 9  ・数Ⅲ-1  ・職Ⅳ-1 3  ・職Ⅳ-2

題 材	さつまいもの栽培	月(時数)	6月～10月(50時間)
目 標	○ さつまいもの栽培を通して、農機具の取り扱い方に慣れるとともに、栽培から販売までの過程を通して生産することの喜びを味わわせ、働くことの意欲を育てる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 さつまいもの栽培について話し合う。 (1) 昨年の経験を発表する。 (2) どのような作業手順が必要か話し合う。	○ さつまいもの種類や利用の仕方について発表させる。 ○ 植えつけ準備から販売までの大まかな流れをつかませる。	・栽培計画表 ・絵カード	・生Ⅲ 9-2
2 畑の整地をする。 (1) 畑を耕し、除草をする。 ・ くわ、耕運機、一輪車 (2) 堆肥を入れる。 (3) うねつくりをする。 ・ うね巾、うねの方向	○ 自分から進んで作業をさせる。 ○ 畑を耕す農具にはどのようなものがあるか発表させ、その安全な取り扱い方について指導する。 ○ 堆肥やうねつくりの必要性について気づかせる。	・くわ ・耕運機 ・一輪車 ・肥料 ・ロープ ・巻き尺	・職Ⅳ-1 ・職Ⅳ-2 ・職Ⅳ-1 3 ・職Ⅳ-1 6 ・数Ⅲ-4
3 苗を植える。 (1) 苗の植え方を知る。 ・ 水平植え、斜めざし ・ 苗の深さ、株間 (2) かん水をする。	○ 植え込んだ苗が、うねからはみ出さないように注意させる。 ○ 株間については基準棒を用いる。 ○ かん水はたっぷりとさせる。	・基準棒 ・ホース	
4 畑の手入れをする。 ・ 除草、追肥、土寄せ ・ 薬剤散布	○ 個別にうねを割り当て作業に対する責任感を持たせ意欲を高める。 ○ 薬剤の取り扱いには十分気をつけさせる。	・くわ ・肥料 ・薬剤	・職Ⅳ-2 9 ・職Ⅳ-3 3 ・職Ⅳ-2 1
5 収穫をする。 (1) 農具を準備する。 ・ かま、一輪車、ひも (2) つるを切る。 (3) さつまいもを掘る。 (4) 選別する。 (5) 袋詰めをする。	○ かまやくわの取り扱いについては十分配慮する。 ○ つるは全部切らず3cmくらい残して切らせる。 ○ 商品価値について知らせ、一定の重さごとに袋詰めさせる。	・かま ・一輪車 ・ひも ・はかり ・ビニール袋	・職Ⅳ-2 0 ・職Ⅳ-3 5 ・数Ⅲ-4
6 販売する。 ・ 商店、親、職員 ・ 売上金の計算	○ みんなで、分担して商品を運ばせ収穫の喜びを味わわせる。	・一輪車	・職Ⅳ-7
7 さつまいも栽培の反省をする。 ・ 農具の整理、反省と感想	○ 収穫の喜びや働くことの意義を理解させる。		・職Ⅴ-2



題材	秋まき野菜の栽培	月(時数)	9月～6月(60時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋まき栽培(玉ねぎとレタス)の種まき, 移植, 定植, 栽培管理, 収穫などの基本的な知識・技能を身につけるとともに, 栽培と収穫の喜びを体得させ, みんなと協力して最後まで作業をなしとげる態度を養う。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1 秋まき野菜の栽培について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>玉ねぎとレタス</li> </ul> 2 種まきをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>レタス ・ 玉ねぎ</li> </ul> 3 畑の整地をする。           (1) 畑を耕し, 除草をする。           (2) 堆肥を入れる。           (3) うねづくりをする。           4 苗を植える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>苗の深さ, 株間</li> </ul> 5 畑の手入れをする。           (1) 除草をする。           (2) 追肥をする。           (3) 成長の観察をする。           6 収穫をする。           (1) とり入れをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>とり入れと古葉切り</li> </ul> (2) 選別をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>色と大きさによる選別</li> </ul> (3) 袋詰め(収納)をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>2kgずつの袋詰め</li> <li>台ばかりの使い方</li> </ul> 7 販売をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>商店, 親, 職員</li> <li>売上金の計算</li> </ul> 8 玉ねぎ栽培の反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>畑の整地</li> <li>農具の点検</li> <li>反省と感想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの栽培経験を想起させる。</li> <li>種まきの時期に気をつける。</li> <li>生徒の能力に応じた作業配置を考える。</li> <li>うねづくりの時は, 日当りや水はけに留意するようにさせる。</li> <li>株間については基準棒を用いる。</li> <li>手入れは, 除草と追肥が中心となることに気づかせる。</li> <li>玉ねぎを数個掘りおこし, 成長の過程をわからせる。</li> <li>商品化させることを意識させ, 大切に取り扱いかわせる。</li> <li>大・中・小の三種類に分類させる。</li> <li>見本をもとに, 袋詰めを各自行わせる。</li> <li>おおよそ, 2kgを目安とさせる。</li> <li>みんなで店まで運ばせ, 販売することの意識を高めさせる。</li> <li>収穫の喜び, 働くことの意義を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種子</li> <li>くわ</li> <li>耕運機</li> <li>一輪車</li> <li>シャベル</li> <li>基準棒</li> <li>肥料</li> <li>くわ</li> <li>一輪車</li> <li>カッター</li> <li>ナイフ</li> <li>ビニール袋</li> <li>台ばかり</li> <li>リヤカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生Ⅲ 9-2</li> <li>職Ⅳ-1</li> <li>職Ⅳ-2</li> <li>職Ⅳ-1 3</li> <li>職Ⅳ-1 6</li> <li>数Ⅲ-4</li> <li>職Ⅳ-9</li> <li>数Ⅱ-8</li> <li>職Ⅳ-3 5</li> <li>職Ⅳ-1 0</li> <li>数Ⅲ-4</li> <li>職Ⅳ-7</li> <li>職Ⅴ-2</li> </ul>	

題材	秋まき草花の栽培	月(時数)	9月～3月(30時間)
目標	○ 秋まき草花栽培を通して、花栽培の基礎的な知識・技能を育てると共に、草花に対する興味・関心を高め、植物を大切に育てあげる態度を養う。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 秋まき草花の育苗について話し合う。 (1) 草花の種類を調べ、栽培する草花を決める。 ・ パンジー、なでしこ等 (2) 栽培計画を立てる。 ・ 生育過程と作業内容 2. 種まきをする。 (1) 育苗箱を準備する。 (2) 床土を入れる。 (3) 種子をまく。 3. 育苗箱の管理をする。 (1) かん水をする。 (2) 間引きをする。 4. 移植をする。 (1) 培養土を作る。 ・ 土の種類、性質 (2) 移植をする。 ・ 掘り出す方法、植える方法 5. 栽培管理をする。 ・ 日射、温度、水などの条件 6. 定植をする。 7. おち葉ひろいをする。 (1) 使う道具や場所について話し合う。 (2) おち葉ひろいに行く。 (3) ひろったおち葉の整理をする。 8. 農具の手入れをする。 (1) 農具の整備をする。 9. 秋まき草花の栽培について反省をする。	○ 草花には、春まき、秋まきなどの種類があることに気づかせ、秋まきの草花にはどのようなものがあるかを発表させる。 ○ 時期、場所、生育管理の面を考慮しながら、栽培品種を決めさせる。 ○ 浸種は、前日しておく。 ○ 育苗箱は、一人ひとりに与え、種子まきから管理まで、各々が責任をもって行なうようにさせる。 ○ 温度の管理については、ビニールハウスで調節する。 ○ 移植の際の苗の取り扱いについては、痛めないように十分注意させる。 ○ 培養土については、腐葉土を作らせ、利用させる。 ○ 昨年の経験を想起させ、近くの山におち葉のあることや、必要な用具に気づかせる。 ・ 安全に気をつけ作業させる。 ・ 表示されたところに格納させる。	・ スライド ・ 図鑑 ・ 栽培計画表 ・ 草花の種子 ・ 育苗箱 ・ 用土 ・ じょうろ ・ ビニール小鉢 ・ ビニール袋 ・ リヤカー ・ 小屋	・ 生Ⅲ 9-2 ・ 理Ⅳ - 2 3 ・ 職Ⅳ - 1 ・ 職Ⅳ - 2 0 ・ 職Ⅳ - 2 9 ・ 職Ⅳ - 3 ・ 職Ⅳ - 4 ・ 職Ⅳ - 1 3 ・ 職Ⅴ - 1 2 10・13

中学部窯業コース

題材	茶器の製作	月(時数)	4月～7月(60時間)	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作を通して窯業への関心を高め、その基礎的な知識、技能を身につけさせるとともに、役割分担することで仕事への責任をもたせ、他と協調して働く態度を育てる。</li> <li>いろいろな型の茶器作りを通して、作業への見通しをもたせ、作品が実用化される喜びを味わわせる。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	備考	関連内容	
1. 焼きものについて知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>材料と用具</li> <li>製作過程</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土から製品に至るまでの過程を実物で理解させ、製品への興味、関心をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘土</li> <li>見本</li> <li>諸用具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅴ－ 1</li> <li>2</li> <li>5</li> </ul>	
2. 茶器の製作について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容</li> <li>製作の手順と方法</li> <li>用具の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業工程図や示範で作業への見通しをもたせ、湯呑み、コーヒーカップ等の製作手順を理解させる。</li> <li>生徒にも実際させて理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業工程図</li> <li>たたら板</li> <li>型ベニヤ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7</li> <li>9</li> <li>11</li> <li>16</li> <li>18</li> </ul>	
3. 役割分担をして製作する。 <p>(1) 基礎練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土練り、板づくり、切断、接合、手びねり成形</li> </ul> <p>(2) 役割分担をする。</p> <p>(3) 製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土練り、成形、乾燥、ペーパーがけ、素焼、釉がけ、本焼き</li> </ul> <p>(4) 作品整理と用具の後始末</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一連の過程をどの生徒にもさせながら個々の特性をみる。</li> <li>能力に合った分担をするが一人ひとりの作業量や技能面にいくらかの負荷が加わるよう配慮していく。</li> <li>湯呑み、コーヒーカップ等には絵つけを入れるなど生徒たちの素朴な表現を生かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助具</li> <li>釉薬</li> <li>ハケ</li> <li>筆</li> <li>サンドペーパー</li> <li>ドベ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>29</li> <li>30</li> <li>33</li> <li>35</li> <li>・美Ⅲ－ 4</li> <li>・美Ⅴ－ 4</li> </ul>	
4. 学習のまとめと反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>作業態度や作品のでき高</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品販売についても考えさせ、製品の行方や商品についての意味を理解させる。</li> </ul>			

題材	はしおき製作	月(時数)	9～12月(75時間)
目標	○ はしおきの製作を通して手びねり、型づくりなどの基礎的な技能を高めるとともに、分担作業での集中力と責任感を養う。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 焼きものについて知る。 ・ 材料と用具 ・ 製作過程	○ 土から製品に至るまでの過程を実物で理解させ、作業への興味・関心を高める。	・ 見本 ・ 粘土 ・ ヘラ	・ 職Ⅳ－1 2 5
2. はしおきの製作について知る。 ・ 作業内容 ・ 製作の手順と方法 ・ 用具の使い方	○ 見本や石膏型を準備し、示範したり実際に作業させたりすることで見通しを持たせる。	・ ナイフ ・ 石膏型 ・ ドベ ・ 筆	7 9 11 18
3. 基礎練習をする。 ・ 土練り ・ 手びねり成形 ・ 石膏型へのつめこみととり出し ・ カッティング ・ 接着のし方	○ 一連の過程をどの生徒にもさせながら個々の特性をみる。 ○ 土練りや手びねりを十分させることで粘土に慣れ親しませ、製品を作る喜びや生産に必要な基礎的な事柄を理解させる。	・ サンドペーパー ・ 釉薬 ・ ハケ	20 29 35 ・ 美Ⅲ－4 ・ 美Ⅴ－4
4. 役割分担をして製作する。 ・ 分量はかり、型づめ、ボール作りと組み立て、ペーパーかけ	○ オットセイ、魚、植物等のはしおきを型づくりを中心に製作させる。		
5. 手びねりのはしおきを作る。	○ 個々の特性を生かした素朴な味わいのあるものを製作させる。		
6. 素焼き、釉かけ、本焼きをする。			
7. 学習のまとめと反省をする。 ・ 作品整理と用具の後始末 ・ 作業態度や作品のでき高	○ 作品販売についても考えさせ、自分たちの製品が生活に役立つ喜びを持たせる。		

題材	小物入れの製作	月(時数)	1～3月 (40時間)
目標	○ 身近な小物入れの製作を通して窯業の基礎的な技能を身につけるとともに与えられた仕事に責任をもって根気強く作業する態度を養う。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 焼きものについて知る。 ・ 材料と用具 ・ 製作過程	○ 土から製品に至るまでの過程を実物で理解させ、製作への興味、関心をもたせる。	・見本 ・粘土 ・カンナ	・職Ⅳ－ 1 2 3
2. いろいろな小物入れの製作について知る。 ・ 作業内容 ・ 製作の手順と方法 ・ 用具の使い方	○ 参考作品を数種準備し、用途について十分理解させる。 ○ 生徒の発想をできるだけ取り入れた製品にするために話し合い、計画を立てる。	・ヘラ ・たたら板 ・石膏型 ・筆 ・サンドペ	4 7 9 11 14
3. 基礎練習をする。 ・ ひもづくり ・ ボールづくり ・ 手びねり成形 ・ 板づくり ・ 組み立て ・ カッティング ・ 土練り 石膏型づめ	○ 一連の過程をどの生徒にもさせながら個々の特性をみる。 ○ 基礎練習を通して生産に必要な基本的な事柄を理解させ、技能の向上を図る。 ○ 用具等について、安全な取り扱い、手入れ、整理整頓の大切さを理解させる。	一パー ・釉薬 ・ハケ ・補助具 ・さし絵 ・分担表	15 16 20 29 30 35
4. 役割分担をして製作する。 ・ 板づくり、ひもづくり、手びねり ・ カッティング ・ 組み立て ・ 仕入れ	○ いくつかの仕事内容ごとに役割分担するが、できるだけ多くの経験ができるようローテーション化する中で箱、がご型のものを製作させる。	・ドベ	・美Ⅲ－ 4 ・美Ⅴ－ 4
5. つまようじ入れを製作する。	○ 板づくりによる分担作業を通して行わせる。		
6. 素焼き、釉がけ、本焼きをする。			
7. 学習のまとめと反省をする。 ○ 作品整理と用具の後始末 ○ 作業態度や作品のでき高	○ 取り組みへの自己評価や製品販売についても考えさせる。		

中学部木工コース

題材	花びんしきの製作	月(時数)	4～10月(90時間)	
目標	○ 花びんしきの製作を通して、材料や木工具の使い方に慣れさせ、安全に根気強く作業する態度を養う。			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 見本を見ながら花びんしきの製作について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丸太材    ・ 加工材</li> <li>・ 材の堅さ    ・ 水性塗料</li> </ul> </li> <li>○ 製作工程                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形、大きさ決め    ・ 切断</li> <li>・ すみつけ    ・ 組立</li> <li>・ 生地みがき    ・ 塗装</li> </ul> </li> <li>○ 機械                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糸のこ盤・ 自動かん盤</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな花びんしきの見本を見せ製作意欲を喚起するとともに用途や色についても調べさせる。</li> <li>○ 絵を中心とした工程表と各部分の標本を用意し、見通しをもたせる。</li> <li>○ 花びんしき製作に使用する機械の名まえをおぼえさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花瓶敷の</li> <li>・ 見本</li> <li>・ 木材見本</li> <li>・ 塗料</li> <li>・ 接着剤</li> <li>・ 作業の工程表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－ 2</li> <li>・ 職Ⅳ－ 14</li> </ul>	
2. 形を決める。	○ 花びんしきの見本を見ながら、平面図を方眼紙に書かせる。	・ 方眼紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美Ⅳ－ 11</li> <li>・ 職Ⅴ－ 5</li> </ul>	
3. すみつけをする。	○ カーボン紙や型紙を使ってすみつけをさせる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－ 7</li> <li>8</li> </ul>	
4. 切断する(のこぎり, 糸のこ盤)	○ 安全な取り扱い(無理に押ししたり引いたりしない)に特に留意する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糸のこ盤</li> <li>・ 糸のこ刃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美Ⅴ－ 9</li> </ul>	
5. 組立をする。	○ 速乾ボンドの使用時は換気をよくし、よく手をふかせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木工用速</li> <li>・ 乾ボンド</li> <li>・ ワイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－ 14</li> </ul>	
6. 生地みがきをする。	○ 木片に紙やすりをまき、繊維と平行に研かせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙やすり</li> <li>・ 耐水性紙</li> <li>・ やすり</li> </ul>		
7. 塗装をする。	○ 乾かないうちに、つぎを塗り重ねたり、一度に厚く塗り過ぎたりしないようにさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水性ペイ</li> <li>・ ント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美Ⅳ－ 10</li> </ul>	
○ 耐水性紙やすりでの研摩(3～4回くり返し)	○ 耐水性紙やすりは荒いものから3段階に分け最後は800番程度のものを使用させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワックス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－ 15</li> <li>16</li> <li>17</li> </ul>	

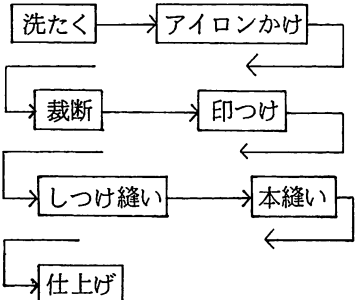
題材	本立の製作	月(時数)	11~3月(85時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>本立の製作をとおして、木作業への興味・関心を起こし、作る喜びを味わせるとともに、材料や木工具の使い方に慣れさせ、安全に作業する態度を養う。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 木材を利用して作られている品物を調べ、今まで作った木製品について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>材料               <ul style="list-style-type: none"> <li>合板(ベニヤ板)</li> <li>ラワン材</li> <li>釘</li> <li>塗料</li> </ul> </li> <li>製作工程               <ul style="list-style-type: none"> <li>型紙づくり</li> <li>切断</li> <li>組立</li> </ul> </li> <li>木工具や機械               <ul style="list-style-type: none"> <li>両刃のこぎり</li> <li>げんのう</li> <li>丸のこ盤</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材で作られている物が多いことに気づかせるとともに製作経験を想起させ、製作意欲をもたせる。</li> <li>材料については製作の過程で指導する。</li> <li>絵を中心とした工程表と各部分の標本を用意し、製作意欲を高め見通しをもたせる。</li> <li>本立の製作に必要な工具や機械名をおぼえさせ、安全な取り扱い、手入れ、整理整頓の大切さを理解させる。</li> <li>測定工具(さしがね)の使えない生徒には型紙を使わせる。</li> <li>目盛りの読み方、寸法の表わし方も指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木製品の 見本</li> <li>木材見本</li> <li>塗料</li> <li>接着剤</li> <li>作業の工 程表</li> <li>両刃のこ ぎり</li> <li>げんのう</li> <li>平かんな</li> <li>さしがね</li> <li>見取図</li> <li>三面図</li> <li>両刃のこ ぎり</li> <li>板材 ラワン スギ 合板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美Ⅳ-4</li> <li>・職Ⅳ-14</li> <li>・職Ⅳ-2</li> <li>・美Ⅳ-11</li> <li>・職Ⅳ-16</li> <li>・職Ⅳ-20</li> <li>・職Ⅳ-7</li> <li>・数Ⅳ-5</li> <li>・職Ⅳ-8</li> <li>・職Ⅳ-11</li> </ul>	
2. 木取りをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>見取図の見方</li> <li>部品の確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>底板</li> <li>側盤</li> <li>背盤</li> </ul> </li> <li>むだのない木取りの仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>測定工具(さしがね)の使えない生徒には型紙を使わせる。</li> <li>目盛りの読み方、寸法の表わし方も指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見取図</li> <li>三面図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅳ-7</li> <li>・数Ⅳ-5</li> </ul>	
3. のこぎりで切断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりの刃の構造               <ul style="list-style-type: none"> <li>たてびき用</li> <li>横びき用</li> </ul> </li> <li>のこぎりびきの仕方               <ul style="list-style-type: none"> <li>両手びき</li> <li>片手びき</li> <li>材料の固定</li> <li>ひきはじめ</li> <li>ひき終り</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひき初めは、切りこむ所に左手の親指をあて、のこぎりのもとの方でゆっくりと。ひき終りもゆっくりとひくように留意させる。</li> <li>二人組をつくり、一人は材料を固定し、一人は両手でこのびきをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両刃のこ ぎり</li> <li>板材 ラワン スギ 合板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅳ-8</li> <li>・職Ⅳ-11</li> </ul>	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
4. 平かんなでけずる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平かんなの構造</li> <li>○ かんな刃の調節</li> <li>○ 平けずり</li> <li>○ こばけずり</li> <li>○ こぐちけずり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ けずる前に釘や砂がついていないかどうかを確かめさせる。</li> <li>○ 教師が調節し、かんな身をぬかないようにさせる。</li> <li>○ 平けずりでは右手で台を押さえ左手で引かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんな</li> <li>・練習材</li> <li>・木づち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅳ－11</li> <li>・職Ⅳ－14</li> </ul>
5. 組立をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組立作業の手順</li> <li>○ 組立けがき</li> <li>○ 下穴あけ</li> <li>○ 接着剤つけ</li> <li>○ 釘打ち               <ul style="list-style-type: none"> <li>・釘の長さ</li> <li>・釘の打ち方</li> <li>・釘を打つ場所</li> </ul> </li> <li>○ 組立の検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人一組で作業すると能率もよく、正確にできることを知らせる。</li> <li>○ 金づちは使う前に頭がぬけないかどうか調べさせる。</li> <li>○ 木木が堅いときは、板割れや釘の曲がりを防ぐため予備穴をあけさせる。</li> <li>○ 釘をたくさん打ちすぎないように予め印をつけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・げんのう</li> <li>・きり</li> <li>・接着剤</li> <li>・布</li> <li>・釘</li> <li>・さしがね</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅳ－30</li> <li>・職Ⅳ－9</li> </ul>
6. 塗装をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生地みがき               <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙やすりの目の大きさ</li> </ul> </li> <li>○ との粉ぬりとすりこみ</li> <li>○ ニスぬり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・はけの使い方</li> <li>・火気や換気</li> <li>・はけの始末</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 塗装をよく仕上げるために、生地みがきを十分させる。</li> <li>○ 木目の美しい木材の塗料は透明塗料を用いる。</li> <li>○ 室内の換気をよくして塗装させるとともに火気に十分注意させる。</li> <li>○ 使用後は、はけや容器をよく洗いきちんとさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙やすり</li> <li>・との粉</li> <li>・ニス</li> <li>・シンナー</li> <li>・はけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美Ⅳ－10</li> <li>・職Ⅳ－33</li> </ul>
7. まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 製品の展示</li> <li>○ 諸工具の手入れ、整理</li> <li>○ 学習の反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 製品の展示や工具の手入れ、整理をさせながら物を大切に取扱うようにさせる。</li> <li>○ 作品の出来ばえだけでなく、製作態度、根気強さ、協力、安全などにも耳を向けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械油</li> <li>・ワイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅳ－15</li> <li>16</li> </ul>



## 中学部家庭コース

題材	台ふき・ぞうきんの製作	月(時数)	4～3月(130時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>台ふきやぞうきんの製作を通して、手縫いやミシン縫いに慣れさせるとともに、自分の役割の仕事をやり遂げる態度を養う。</li> <li>裁縫用具や家庭機器などの安全な扱い方を理解させる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 台ふき・ぞうきんの製作について話し合う。 (1) 台ふきやぞうきんの用途を調べる。 (2) 製作の目的について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習、清掃活動</li> <li>学校・学級への奉仕</li> <li>家庭への奉仕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な経験や実物などを通して、よく使われている生活用品であることと気づかせ、製作しようとする意欲を喚起する。</li> <li>学校内で活用されている台ふきやぞうきんの実物を提示して、製作への関心を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台ふき</li> <li>ぞうきん</li> <li>の実物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社Ⅴ－5</li> <li>国Ⅱ－5</li> <li>6</li> </ul>
2. 製作の計画を立て、準備する。 (1) 材料や用具、工程を調べる。 (2) 台ふきを縫う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>手縫い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工程ごとに実物を提示して、作業の内容や手順をわかりやすくする。</li> <li>個人製作を通して、縫い方の手順を理解させるとともに、個々の能力や実態を把握する。</li> <li>能力に応じて、ミシン縫いを取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工程表</li> <li>工程ごとの台ふき</li> <li>さらし布</li> <li>裁縫用具</li> <li>型紙</li> <li>ミシン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理Ⅳ－8</li> <li>職Ⅳ－2</li> <li>職Ⅳ－8</li> <li>職Ⅳ－6</li> <li>家Ⅳ－5</li> <li>家Ⅳ－6</li> </ul>
(3) 製作の計画表を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>目標</li> <li>活動内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期ごとのローテーションであることから、学期内の計画表であることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画表</li> <li>マジックセット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅴ－27</li> <li>生Ⅲ役－4</li> </ul>
(4) 役割を決める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>係名</li> <li>仕事内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人製作の結果や作業に取り組む態度などから、役割を決めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分担表</li> <li>係札</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社Ⅴ－24</li> <li>生Ⅲ役－4</li> </ul>
(5) 材料・用具を準備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>布</li> <li>裁縫用具など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割の意識化を図るために、各係で責任を持って準備させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらし布</li> <li>裁縫用具</li> <li>ものさし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅳ－1</li> </ul>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>3. 台ふき・ぞうきんを製作する。</p> <p>(1) 分担作業で製作する。</p>  <p>(2) 後始末する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具の整理・整とん</li> <li>・ 作業室の清掃</li> </ul> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業の取り組みの反省</li> <li>・ 出来高調べ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 洗たく、アイロンかけは全員が経験できるように全員作業も導入する。</li> <li>○ 一人ひとりの能力に応じて、補助具や手だてを加え、作業への抵抗感を和らげる。</li> <li>○ 縫い始めと縫い終わりは返し縫いを忘れないように×印をする。</li> <li>○ 工程内の作業を多く経験できるように適宜役割を交代させる。</li> <li>○ アイロンやミシン、裁縫用具などは安全な取り扱いになるように、置く位置や方向を印しておく。</li> <li>○ 用具の始末は準備した係で責任を持ってさせる。</li> <li>○ 作業室の清掃は全員で協力して取り組ませる。</li> <li>○ 難しかった点、工夫した点などを発表させ、互いによくがんばった点は認め合い、継続して作業することの大切さや喜びを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗たく機</li> <li>・ 洗剤</li> <li>・ さらし布</li> <li>・ 古布</li> <li>・ 型紙</li> <li>・ アイロン</li> <li>・ アイロン台</li> <li>・ 裁縫用具</li> <li>・ ミシン</li> <li>・ 係札</li> <li>・ 糸くず入れ</li> <li>・ 収納かご</li> <li>・ 清掃用具</li> <li>・ 用具入れ</li> <li>・ 製作した台ふき・ぞうきん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家Ⅴ－35</li> <li>・ 家Ⅳ－3</li> <li>4, 5,</li> <li>6, 7</li> <li>・ 生Ⅱ手－7</li> <li>・ 生Ⅱ役－4</li> <li>・ 生Ⅲ役－4</li> <li>・ 職Ⅳ－33</li> <li>34</li> <li>・ 生Ⅱ手－6</li> <li>・ 家Ⅳ－23</li> <li>・ 職Ⅳ－16</li> <li>・ 職Ⅳ－2</li> <li>・ 数Ⅲ－1</li> <li>・ 国Ⅱ－5</li> <li>6</li> </ul>

題 材	調理Ⅰ サンドイッチと紅茶	月(時数)	5・10・2月(15時間)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サンドイッチと紅茶作りを通して、友達と協力して仕事を進める態度を育てるとともに、調理する楽しさや喜びを味わわせる。</li> <li>○ 調理用具の安全な取り扱いに慣れさせる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1. サンドイッチと紅茶について調べる。 (1) 材料を調べる。 ・パン ・マヨネーズ ・ハム ・バター ・野菜 ・紅茶など (2) 作り方や手順を調べる。 ・ サンドイッチの作り方 ・ 紅茶の入れ方 ・ 手順 (3) 役割を決める。 ・ 役割分担 ・ 各係の仕事内容 (4) 材料や用具の準備をする。 ・ 材料 ・ 食器 ・ 用具 2. 調理をする。 (1) サンドイッチを作る。 ・ バターぬり ・ 具のはさみ方 ・ サンドイッチの切り方 ・ 盛りつけと配膳 (2) 紅茶を入れる。 ・ お湯沸かし ・ 紅茶入れ ・ セッティング (3) 会食する。 3. 後始末をする。 ・ 食器洗いと用具の整理 ・ 調理室の清掃 4. 学習のまとめをする。 ・ がんばった点 ・ 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実物や絵などを見せることによって材料を想起させ、調理への興味・関心をもたせる。</li> <li>○ 中にはさむものは、生徒の考えをなるべくとり入れるようにする。</li> <li>○ 作り方を表にしたり、師範したりしてみせることで、手順をわかりやすくさせる。</li> <li>○ 能力に応じて役割を決め、必要に応じて役割交代もさせる。</li> <li>○ 調理用具の置いてある場所や名称を説明しながら準備させる。</li> <li>○ 手洗いや服装を確認する。</li> <li>○ バターは全体に平均的にぬらせるために柔らかくしておく。</li> <li>○ サンドイッチの切り方・盛りつけ方は、生徒一人ひとりのアイデアをとり入れる。</li> <li>○ コンロの火をつけられない生徒は、教師が手をそえてさせる。</li> <li>○ やかんの持ち方やポットの位置等安全に気をつけさせる。</li> <li>○ 会食することによって、作り上げた喜びを味わわせる。</li> <li>○ 洗う、ふく、棚に整理するなど役割を分担して後始末をさせる。</li> <li>○ 出来ばえを中心に話し合わせ、できた喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材料</li> <li>・作り方表</li> <li>・ティーカップ</li> <li>・分担表</li> <li>・食材料</li> <li>・用具など</li> <li>・エプロン</li> <li>・マスク</li> <li>・三角布</li> <li>・食材料</li> <li>・包丁</li> <li>・皿</li> <li>・紅茶</li> <li>・カップ</li> <li>・スプーン</li> <li>・砂糖</li> <li>・中性洗剤</li> <li>・ふきん</li> <li>・清掃用具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理Ⅳ－5</li> <li>・国Ⅲ－2</li> <li>・職Ⅳ－29</li> <li>・家Ⅳ－35</li> <li>・家Ⅳ－16</li> <li>・家Ⅳ－41</li> <li>・職Ⅳ－5</li> <li>・家Ⅳ－14</li> <li>・家Ⅳ－21</li> <li>・生Ⅲ－2－10</li> <li>・家Ⅳ－20</li> <li>・家Ⅳ－10</li> <li>・家Ⅳ－12</li> <li>・家Ⅳ－13</li> <li>・家Ⅳ－23</li> <li>・生Ⅱ－6－8</li> </ul>

題 材	調理Ⅱ ごはんとみそ汁	月(時数)	6月, 11月, 3月(15時間)
目 標	○ ごはんとみそ汁作りを通して, 調理用具の安全な扱い方や計量の仕方などを理解させるとともに, 協力して仕事を進める態度を養う。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1. ごはんとみそ汁について調べる。 (1) 材料を調べる。 ・ 米 ・ わかめ ・ みそ ・ ねぎなど (2) 作り方や手順を調べる。 ・ 材料の洗い方・具の切り方 ・ コンロの使い方 ・ 手順 (3) 役割を決める。 ・ 役割分担 ・ 各係の仕事内容 (4) 材料や用具の準備をする。 ・ 食材料 ・ 食器 ・ 用具	○ 日常食として親しまれている献立であることを, 家庭での食事や給食の献立などから想起させ, 調理することに関心を持たせる。 ○ 作り方や手順などは絵図の表にして提示する。 ○ コンロや包丁などの扱いは, 安全面に留意するように, 実態に応じた役割決めをさせる。 ○ 調理用具の名称や扱い方を用具を実際に取り扱いながら説明する。	・ 献立表 ・ スライド ・ 写真 ・ 絵図の表 ・ コンロ ・ 調理用具 ・ 分担表 ・ 調理用具 ・ 食材料	・理Ⅳ－5 ・家Ⅳ－15 ・家Ⅳ－16 ・家Ⅳ－17 ・家Ⅳ－21 22 ・社Ⅴ－24 ・家Ⅳ－34 ・家Ⅴ－35 ・家Ⅳ－16 21
2. 調理をする。 (1) 材料や調味料の分量を調べる。 ・ 分量調べ ・ 計量 (2) 米飯を炊く ・ 米洗い ・ 炊飯準備 (3) みそ汁を作る。 ・ 野菜の洗い方や切り方 ・ だしのとり方 ・ 実やみその入れ方 (4) 盛りつけ・配ぜん	○ 身支度や手洗いについて, 当番に確認させる。 ○ 計量カップの使い方や目盛りの読み方など, 全員に交代でさせる。 ○ 米の洗い方や洗う回数については, 師範する。 ○ 野菜の洗いは, 流水で, 根っこの土をよく落として, 丁寧に洗うように留意させる。 ○ 配ぜんの仕方や茶わんの持ち方, はしの使い方など見本や手本を示して正しいマナーを知らせる。	・ エプロン ・ マスク ・ 三角布 ・ 計量用具 ・ 炊飯器 ・ 米・計量 カップ ・ み そ ・ いりこ ・ けずり節 ・ 調理用具 ・ 盆・食器 ・ は し ・ たわし 下 清掃用具 ・ ごみ入れ	・生Ⅲ役－4 ・家Ⅴ－18 ・数Ⅲ－4 ・数Ⅳ－5 ・家Ⅴ－21 ・家Ⅳ－17 ・数Ⅲ－4 ・生Ⅲ健－10 ・生Ⅲ手－9 10 ・生Ⅲ基－4 ・職Ⅳ－18 ・職Ⅴ－1 ・国Ⅲ－4 ・国Ⅳ－4
3. 会食する。			
4. 後始末をする。 ・ 食器洗いと用具の整理 ・ 調理室の清掃	○ 全員で後始末ができるように, 役割を決めさせる。		
5. 学習のまとめをする。 ・ がんばった点 ・ くふうした点	○ 係ごとに感想を発表させて, できた喜びをみんなで分かち合う。		

題 材	調 理 Ⅲ ケ ー キ	月(時数)	12月(10時間)	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ケーキ作りを通して、菓子作りの基本となる卵の割り方、粉の混ぜ方などに慣れさせるとともに、作る楽しさや喜びを味わわせる。</li> </ul>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
1. ケーキについて調べる。 (1) 材料を調べる。 ・粉 ・卵 ・牛乳 ・バター ・ホイップクリーム ・季節のくだものなど (2) 作り方や手順を調べる。 ・ ケーキの作り方と飾り方 ・ 手 順 ・ ホットプレートの使い方 (3) 役割を決める。 (4) 材料や用具の準備をする。 ・材料購入 ・食器 ・用具 2. 調理をする。 (1) 材料や調味料の分量を調べる。 ・粉 ・卵 ・牛乳 ・バター ・ホイップクリームなど (2) ホットケーキを焼く。 ・ 材料混ぜ ・ 生地焼き (3) 飾りつけをする。 ・ ホイップクリーム塗り ・ 飾りつけ (4) 会食する。 ・ 紅茶入れ ・ 会食 3. 後始末をする。 ・ 食器洗いと用具の整理 ・ 調理室の清掃 4. 学習のまとめをする。 ・ がんばった点 ・ 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スライドや実物などを見せることにより、ケーキ作りへの意欲を喚起する。</li> <li>○ スポンジ台はホットケーキを使う。</li> <li>○ 作り方を表に示して、手順をわかりやすくさせる。</li> <li>○ ホットプレートの使い方を師範して、全員に温度調節のし方を練習させる。</li> <li>○ 能力に応じて役割を決め、必要に応じて役割交代もさせる。</li> <li>○ 材料メモを使わせることによって材料購入の手助けにする。</li> <li>○ 分量は図で示し、計量カップを使用させて粉や牛乳などを計量させる。</li> <li>○ ホットプレートのコンセント・加熱中の取り扱いなど、安全に気をつけさせる。</li> <li>○ 生徒のアイデアをとり入れて、くだものやクリームなどで飾りつけをさせる。</li> <li>○ 会食することによって、作り上げた喜びを味わわせる。</li> <li>○ クリスマス会用のケーキは型を整えケースに納めさせる。</li> <li>○ 役割を分担して清掃させる。</li> <li>○ 出来ばえを中心に話し合わせ、できた喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド</li> <li>・ケーキ</li> <li>・食材料</li> <li>・作り方表</li> <li>・ホットプレート</li> <li>・分担表</li> <li>・材料メモ</li> <li>・食材料</li> <li>・用具など</li> <li>・食材料</li> <li>・計量カップ</li> <li>・エプロン</li> <li>・マスク</li> <li>・調理用具</li> <li>・泡だて器</li> <li>・絞り出し袋など</li> <li>・紅茶・皿</li> <li>・フォーク</li> <li>・収納ケース</li> <li>・清掃用具</li> <li>・ケーキ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理Ⅳ－5</li> <li>・国Ⅲ－2</li> <li>・職Ⅳ－29</li> <li>・家Ⅳ－35</li> <li>・家Ⅳ－16</li> <li>・家Ⅳ－41</li> <li>・数Ⅳ－5</li> <li>・職Ⅳ－5</li> <li>・職Ⅳ－12</li> <li>・家Ⅳ－21</li> <li>・生Ⅲ－2-10</li> <li>・家Ⅳ－20</li> <li>・家Ⅳ－10</li> <li>・家Ⅳ－12</li> <li>・家Ⅳ－13</li> <li>・家Ⅳ－23</li> <li>・生Ⅱ－6-8</li> </ul>	

## 高等部農耕コース

題 材	さつまいもの栽培	月(時数)	4～11月(36時間)	
目 標	○ さつまいもの栽培を通して、うねづくり、植え付け、除草、収穫などの基礎的な技能を身につけさせるとともに、収穫の喜びを味わわせずんで働くとする態度を培う。			
月(時)	主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
4(6)	1. さつまいもの栽培について話し合う。 ・栽培場所 ・面積など 2. 育苗床をつくる。 (1) 育苗床づくりと種いもの植え付けをする。 (2) 育苗床の管理をする。 ・ 追肥 ・ 土寄せ	○ 実物や栽培の様子の写真など提示してさつまいもの栽培への関心を高める。 ○ 種いものは芽を欠かさないう気をつけて取り扱わせる。	・栽培計画 ・表 ・い も ・写 真 ・種いも ・ビニール ・農 具 ・肥料ほか	生Ⅲ9-2
5 6	3. 耕起とうねづくりをする。 (1) くわや耕運機で耕す。 (2) 施肥をする。 (3) うねをつくる。 4. 苗とりをする。 ・ 苗とり ・ 苗はこび	○ くわによる耕起は十分に間隔をとり危険がないように気をつけさせる。 ○ 耕運機の取り扱い是指導者と一緒にさせる。	・く わ ・耕運機 ・一輪車 ・巻 尺	・職Ⅴ-1 ・職Ⅴ-2 ・職Ⅳ-13
7 9	5. 植え付けをする。 (1) 苗を本畑に植える。 ・水平植え ・船底植え ・斜めさし ・苗の深さと栽植距離 (2) かん水や日よけをする。 ・ わらや枯れ草	○ 苗は太く丈夫なものを選ばせる。また刃物類の安全な取り扱いにも留意させる。 ○ ビニールテープに印をして一定間隔に苗を植えさせる。 ○ 能力に応じて仕事をさせ指導者の補助は最少限にして自分で植えたという喜びをもたせる。	・テープ ・農 具 ・移植ごて ・わ ら	・職Ⅳ-21 ・職Ⅴ-24
11(5)	6. 植え付け後の管理をする。 ・除草と追肥 ・土寄せ ・薬剤散布 7. 収穫と出荷をする。 8. さつまいもの栽培の反省をする。	○ いもづると雑草の区別をつけるために雑草に木灰をまいておき除草しやすくする。 ○ いも掘りやいもを食べたりして収穫の喜びを味わわせる。	・農 具 ・肥 料 ・農 薬 ・く わ ・一輪車	・職Ⅳ-21 29,33 ・数Ⅳ-2

題 材	土つくりと農機具の整備		月(時数)	7~3月(50時間)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土つくりを通して、堆肥つくりや土の改良の仕方を理解させる。</li> <li>○ 農機具の手入れを通して、すすんで整備しようとする態度を培う。</li> </ul>			
月(時)	主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
12 (5)	1. 土つくりについて話し合う。 (1) 植物にとって良い土, 悪い土について調べる。 ・ 空気の流通 ・ 腐植 ・ 有機物 ・ 保水力 ・ 酸度 ・ 固粒組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良い土と悪い土に麦などを植えておき生育の状態を比較させ土の良否をわからせる。</li> <li>○ 良い土を実際に手にとって調べさせ落ち葉などが多く含まれていることに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌標本</li> <li>・ 観察植物</li> <li>・ 良い土</li> <li>・ PH実験器具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生Ⅲ 9-7</li> <li>・ 理Ⅴ - 20</li> <li>・ 理Ⅴ - 18</li> </ul>
1 } (34) 3	2. 土つくりをする。 (1) 土の改良をする。 ・ 改良の方法 ・ 土入れ ・ 深耕 ・ 有機物	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 寒気にさらし風化させ病原菌の殺菌をすることを知らせ冬季が土地の改良時期によいことをわからせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農 具</li> <li>・ 一輪車</li> <li>・ 堆肥類</li> </ul>	
7 } (11) 3	3. 堆肥つくりをする。 (1) 堆肥の材料を集める。 ・ 落ち葉 ・ わら ・ 米ぬか ・ 野菜くず ・ のこくず ・ もみがら ・ 鶏ふんなど (2) 畑土と一緒に積む。 (3) 油かすなどの発酵剤を入れる。 (4) 切りかえしをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校外で落ち葉を拾う場合は交通に十分に気をつけさせる。</li> <li>○ 切りかえしの作業ではフォーク, 三つぐわなど危険な農具を使用するために一定の間隔をおいて作業させる。</li> <li>○ 半月1回程度切りかえしをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堆肥材料</li> <li>・ 油かす</li> <li>・ スコップ</li> <li>・ 三つぐわ</li> <li>・ フォーク</li> <li>・ 一輪車</li> <li>・ リヤカー</li> <li>・ 農 具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ - 13</li> <li>14, 20</li> </ul>
7 } (11) 3	4. 農機具の整備の仕方について話し合う。 (1) 農機具の整備をする。 ・ くわ ・ スコップ ・ 三つぐわ ・ 一輪車 ・ 噴霧器 ・ 鉢など ・ 耕運機の整備 (2) 農具つくりをする。 ・ 育苗箱 ・ 土ふるい ・ 支柱など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学期末ごとに整備させる。</li> <li>○ くわや移植ごてなどはさびをとり油ふきをさせる。</li> <li>○ 農機具は表示したところに整理させる。</li> <li>○ 耕運機の整備は指導者と一緒に行う。</li> <li>○ 育苗箱, 土ふるいなど自作できる農具は製作させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三つぐわ</li> <li>・ く わ</li> <li>・ スコップ</li> <li>・ 移植ごて</li> <li>・ 一輪車</li> <li>・ 噴霧器</li> <li>・ 木 材</li> <li>・ 金 網</li> <li>・ 竹など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ - 15</li> <li>16</li> <li>・ 職Ⅴ - 12</li> <li>10, 13</li> <li>・ 職Ⅳ - 1, 2</li> <li>・ 職Ⅴ - 1, 2</li> <li>3</li> </ul>

題 材	草花の栽培（春・秋まき）	月（時数）	4～2月（58時間）	
目 標	○ 草花の栽培を通して、種まきから出荷までの基礎的な栽培技能を身につけさせるとともにすすんで働く態度や協力して仕事を果たしていく習慣を養う。			
月（時）	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
4 (7) 9(10)	1. 草花栽培について話し合う。 (1) 草花の種類と品種を調べる。 ・ 春（マリーゴールド、サルビアなど） ・ 秋（パンジー、金魚草） 2. 草花の種まきをする。 (1) 種まきの準備をする。 ・ 育苗床 ・ 種子 (2) 種まきをする。 ・ すじまき ・ ばらまき ・ 点まき 3. 育苗の管理をする。 (1) かん水をする。 (2) 追肥や除草をする。 (3) 植えかえをする。 ・ 植えひろげ ・ ビニールポット植え	○ 花ごよみや花園の花などを見せて栽培への関心をもたせる。 ○ 作付け計画を提示し、栽培場所や面積を決めさせる。 ○ 発芽しにくい種子は一晩水に浸しておく。 ○ 床面に十分かん水して土を落ちつかせてから種まきをさせる。 ○ 小さな種は乾砂にまぜてまきやすいようにする。 ○ 一人ひとりに育苗箱を分担して、責任をもって管理させる。	・ 栽培計画表 ・ 作付け計画表 ・ 画表 ・ 育苗箱 ・ ふるい ・ じょうろ ・ 乾 砂 ・ 用 土	・ 生Ⅲ 9-2 ・ 理Ⅳ - 23 ・ 理Ⅴ - 23 ・ 生Ⅰ 8-5 ・ 理Ⅴ - 23 ・ 職Ⅴ - 1, 2, 23, 24
5 (8) 10 (9)	4. 植え付けをする。 (1) 植え付けの準備をする。 ・ 整地 ・ 肥料 ・ 苗の選別 ・ 栽植距離 (2) 植え付ける。 ・ 花園 ・ はち植え ・ 寄せ植え ・ 切り花用	○ 一定間隔に苗を植えさせるためにロープなどに印をつけておく。 ○ 鉢はおとさないように両手でもたせ丁寧に取り扱いさせる。 ○ 追肥は根元に施肥しないようにさせる。除草は機会あるごとにさせる。 ○ 薬剤散布は指導者が行う。 ○ 花を飾ったり販売したりして栽培の喜びを味わわせる。	・ 移植ごて ・ 育苗箱 ・ 割りばし ・ ビニールポット ・ 肥 料 ・ 鉢 ・ くわ ・ 一輪車 ・ 農具ほか	・ 職Ⅳ - 13 14, 20
6 (7) 7 11(17) 2	5. 植え付け後の管理をする。 ・ 追肥 ・ 除草 ・ 中耕 ・ 土寄せ ・ 整枝 ・ 誘引 ・ 薬剤散布 6. 出荷と採種をする。 7. 草花の栽培の反省をする。		・ 肥 料 ・ 農 薬 ・ 記録帳	・ 数Ⅳ - 2



題 材	秋まき野菜の栽培(ハクサイ・キャベツ)	月(時数)	9~2月(52時間)	
目 標	○ 秋まき野菜の種類や特性を知り生産過程に応じた管理作業を通すなかで、基礎的な栽培技能を身につけさせるとともに働くことの大切さをわからせる。			
月(時)	主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
9(9)	<p>1. 秋まき野菜の栽培について話し合う。</p> <p>(1) 種類と品種を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハクサイ ・ キャベツ</li> <li>・ レタス ・ 大根ほか</li> </ul> <p>(2) 作型 栽培場所 面積などを決める。</p> <p>2. 種まきをする。</p> <p>(1) 耕起と整地をする。</p> <p>(2) うねたてをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うねと株間</li> </ul> <p>(3) 施肥をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肥料の種類</li> </ul> <p>(4) 種まきをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すじまき ・ 点まき</li> </ul>	<p>○ 実物の野菜や昨年の栽培記録写真などを提示し関心をもたせる。</p> <p>○ 作付け計画を提示し、栽培場所や面積を決めさせる。</p> <p>○ くわによる耕起は十分に間隔をとり危険がないように気をつけさせる。</p> <p>○ うねたてはロープをはったり石灰で印を示したりしてまっすぐできるようにする。</p> <p>○ 種子の大きさによってまき方の違うことに気づかせる。</p> <p>○ 覆土の厚さが一定になるようにふるいを使う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栽培計画表</li> <li>・ 野菜類</li> <li>・ 写 真</li> <li>・ 作付け計画表</li> <li>・ スコップ</li> <li>・ く   わ</li> <li>・ 三つぐわ</li> <li>・ 耕運機</li> <li>・ ロープ</li> <li>・ 肥  料</li> <li>・ 育苗箱</li> <li>・ 種  子</li> <li>・ じょうろ</li> <li>・ ふるい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生Ⅲ 9-2</li> <li>・ 理Ⅴ-23</li> <li>・ 理Ⅴ-23</li> <li>・ 職Ⅳ-13</li> <li>14,20</li> <li>・ 理Ⅴ-23</li> <li>・ 理Ⅴ-1,2</li> <li>24</li> <li>・ 職Ⅳ-13</li> <li>14,20</li> <li>・ 農  薬</li> <li>・ 一輪車</li> <li>・ か  ま</li> <li>・ 袋</li> <li>・ 記録簿</li> <li>・ 数Ⅳ-2</li> </ul>
10(15)	<p>3. 本畑の管理をする。</p> <p>(1) 外葉期の管理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 間引き ・ 移植</li> <li>・ 中耕 ・ 除草</li> <li>・ 追肥 ・ 土寄せ</li> </ul> <p>(2) 結球期の管理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病害虫の防除</li> </ul>	<p>○ 間引きする苗は印をつけて仕事をしやすくする。</p> <p>○ テープなどに印をして一定間隔に苗を植えさせる。</p> <p>○ 薬剤散布は指導者が行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移植ごて</li> <li>・ テープ</li> <li>・ 農  具</li> <li>・ 農  薬</li> <li>・ 一輪車</li> <li>・ か  ま</li> <li>・ 袋</li> <li>・ 記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ-13</li> <li>14,20</li> <li>・ 数Ⅳ-2</li> </ul>
11(15) ? 12	<p>4. 収穫と出荷をする。</p> <p>(1) 収穫の適期を調べる。</p> <p>(2) 収穫をする。</p> <p>(3) 出荷と収支計算をする。</p>	<p>○ 結球部の頭をおさえ球のしまりぐあいを調べて収穫の適期をわからせる。</p> <p>○ 収穫と販売をとおして栽培への喜びを味わわせ野菜栽培への自信をもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一輪車</li> <li>・ か  ま</li> <li>・ 袋</li> <li>・ 記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数Ⅳ-2</li> </ul>
1(13) ? 2	<p>5. 秋まき野菜の栽培について反省をする。</p>			

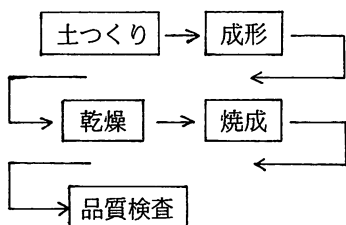
題 材	春まき野菜の栽培(トマト, なす, きゅうり)	月(時数)	4~9月(36時間)	
目 標	○ 春まき野菜の種類や特性を知り, 育苗管理, 移植, 誘引, 摘果などの果菜類の基本的な栽培技能を身につけさせるとともに収穫の喜びや働くことの大切さをわからせる。			
月(時)	主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
4 (7)	1. 春まき野菜の栽培について話し合う。 (1) 種類や品種を調べる。 ・トマト ・ピーマン ・きゅうり・なす など (2) 作型 栽培場所 面積などを調べる。 2. 種まきをする。 ・ 育苗床・用土・種子 3. 育苗の管理をする。	○ 果菜類の野菜の実物を提示し栽培への興味・関心をもたせる。 ○ 作付け計画を提示し栽培場所や面積を決めさせる。 ○ 一人ひとりに育苗箱を分担して, 責任をもって管理させる。	・トマト ・ピーマン ・きゅうり ・なす ・栽培計画表 ・育苗箱 ・用土 ・種子 ・じょうろ	・生Ⅲ9-2 ・理Ⅳ-23 ・理Ⅴ-23
5 (7)	(1) かん水をする。 (2) 間引きや移植をする。 (3) 日射と温度の管理をする。 (4) 病害虫防除と除草をする。 4. 本畑の管理をする。 (1) 耕起, 整地をする。 (2) 施肥をする。 ・ 肥料の種類 (3) 植え付けをする。	○ 日常のかん水は当番制を取り入れる。 ○ 除草は機会あるごとにさせる。 ○ くわによる耕起は十分に間隔をとり危険がないように気をつけさせる。 ○ うねづくりは白線やロープなどで印をつけておく。	・農具 ・一輪車 ・移植ごて ・くわ ・スコップ ・耕運機 ・肥料 ・ロープ	・職Ⅴ-1 2, 24 ・職Ⅳ-13 14, 20
6 (4)	・ 元肥 ・ うねづくり ・ 苗の選別 ・ 栽植距離 (4) 除草, 中耕, 追肥, 土寄せ, 敷きわらなどをする。	○ 除草や中耕では各自に作業区域を示し責任をもたせる。 ○ 摘果や摘芽の部分は印をつけたり, 具体物を示したりして仕事をしやすくする。 ○ 薬剤散布は指導者が行う。	・農具 ・しきわら ・支柱 ・農薬	
7 (18)	(5) 整枝, 誘引, 摘果, 摘葉, 摘心, 摘芽などをする。 (6) 病虫害の防除をする。			
9	5. 収穫と出荷をする。 6. 春まき野菜の栽培について反省する。	○ 収穫した野菜を宿泊学習などで使用し栽培への意欲を高める。	・記録帳	・家Ⅳ-16

## 高等部窯業コース

題材	花器の製作	月(時数)	4～5月(26時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 花器の製作を通して粘土に慣れ親しませるとともに、切る、のぼす、接合するなどの成形作業に必要な基本的技能を身につけさせる。</li> <li>○ いろいろな用具の扱い方を理解させるとともに、協力し合って作業を最後までやり通そうとする態度を養う。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1. 花器の製作について話し合う。</p> <p>(1) 身の回りの製品を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色や形</li> </ul> <p>(2) 製作の目的を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 即売</li> <li>・ 生徒用</li> <li>・ 記念品</li> </ul> <p>(3) 製作の手順や方法を知る。</p> <p>2. 花器の製作をする。</p> <p>(1) 目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業上の態度</li> <li>・ 出来高</li> </ul> <p>(2) 必要な用具の準備をする。</p> <p>(3) 製作をする。</p> <pre> graph TD     A[土づくり] --&gt; B[成形]     B --&gt; C[乾燥]     C --&gt; D[素焼き]     D --&gt; E[釉がけ]     E --&gt; F[本焼き]     F --&gt; G[品質検査]     B --&gt; A     D --&gt; C     F --&gt; E     </pre> <p>(4) 用具の後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手入れ</li> <li>・ 分類</li> <li>・ 後始末</li> </ul> <p>3. 学習のまとめと反省をする。</p> <p>(1) 出来高調べをする。</p> <p>(2) 製品の包装をする。</p> <p>(3) 取り組みへの反省をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常使われている製品や、生徒作品を紹介して製作への興味、関心を高める。</li> <li>○ 自分たちの製品が即売品や、校内での生徒用、老人ホーム訪問での記念品となることを知らせ、意欲をもたせる。</li> <li>○ 態度目標は単元全体を通したものとし、出来高目標は前時をもとに、毎時決めさせる。</li> <li>○ 毎時の出来高を記録する板を準備し、意欲をもたせる。</li> <li>○ 刃物類の取り扱いには特に留意させる。</li> <li>○ 素材の感触を十分確かめさせることを重視し、形の規格化は要求しない。</li> <li>○ 補助を要する生徒には適宜、補助や補助具を与える。</li> <li>○ 検査上の弁別が容易となるよう弁別見本を準備する。</li> <li>○</li> <li>○ 製品や用具の保管場所を表示しておく。</li> <li>○ 取り組みへの自己評価をさせたり出来高の記録を調べさせたりして、目標達成による自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常花器</li> <li>・ 生徒作品</li> <li>・ 年間行事表</li> <li>・ 製作手順表</li> <li>・ 目標板</li> <li>・ 出来高記録板</li> <li>・ 粘土</li> <li>・ カッター</li> <li>・ たたら板</li> <li>・ 釉薬</li> <li>・ ハケ</li> <li>・ 粘土板</li> <li>・ 自己評価表</li> <li>・ 包装紙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅴ－31</li> <li>・ 美Ⅴ－4</li> <li>・ 職Ⅴ－27</li> <li>・ 美Ⅴ－9</li> <li>・ 職Ⅴ－3</li> <li>・ 7</li> <li>・ 8</li> <li>・ 職Ⅴ－2</li> <li>・ 31</li> </ul>	

題 材	れんがの製作(1)	月(時数)	5~7月(42時間)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>れんが製作の手順や方法を理解させ、安全で根気強く最後まで作業をやり通そうとする態度を培う。</li> <li>役割分担を通して、自分たちの手で作りあげていく喜びを味わわせる。</li> </ul>		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1. れんが製作について話し合う。 (1) れんがの使われ方について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>用途や使われている場所</li> <li>色, 形, 大きさ</li> </ul> (2) 製作の目的について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>花園</li> </ul> (3) 作業の内容について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>手順や方法</li> <li>用具の扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の製品や, 身近に使われている写真を示して, れんがへの興味, 関心を高める。</li> <li>校内でれんがが使われている場所や, 色, 形, 大きさなどを調べさせ意欲をもたせる。</li> <li>花園の整備にれんがが活用できることに気づかせる。</li> <li>つくり方を示範したり, 手順を図式化して示したりして, 理解しやすいようにする。</li> <li>態度目標は単元全体を通したものとし, 出来高目標は前時をもとに, 毎時決めさせる。</li> <li>役割分担は, できるだけすべての経験ができるよう, ローテーションを組み個々の意欲を高める。</li> <li>難しい工程においては, 能力に応じて適宜補助し, 役割がすすめられるようにする。</li> <li>土練機への粘土入れは細かくちぎって入れさせ, スムーズな操作ができるようする。</li> <li>用具の保管場所を表示しておく。</li> <li>取り組みへの自己評価をさせたり出来高の記録を調べさせたりして, 目標達成による自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>れんが製品</li> <li>写 真</li> <li>製作手順表</li> <li>分担表</li> <li>土練機</li> <li>出来高記録板</li> <li>木枠型</li> <li>粘 土</li> <li>粘土板</li> <li>川 砂</li> <li>出来高記録表</li> <li>自己評価表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美Ⅴ- 9</li> <li>・社Ⅴ- 24</li> <li>・職Ⅴ- 24</li> <li>・職Ⅴ- 7, 8</li> <li>・職Ⅴ- 1, 2</li> <li>3</li> <li>・職Ⅴ- 8</li> <li>・職Ⅴ- 12</li> <li>13</li> <li>・保Ⅴ- 4</li> </ul>
2. れんがの製作をする。 (1) 目標を決める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>作業上の態度</li> <li>出来高</li> </ul> (2) 役割分担をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>土入れ    土運び</li> <li>成形       検査</li> </ul> (3) 役割ごとに点検や準備をする。 (4) 製作をする。 <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[土づくり] --&gt; B[成形]     B --&gt; C[乾燥]     C --&gt; D[焼成]     D --&gt; E[品質検査]           </pre> </div> (5) 用具の後始末をする。	3. 学習のまとめと反省をする。 (1) 出来高調べをする。 (2) 製品を保管する。 (3) 取り組みへの反省をする。		

題 材	運 動 会 の メ ダ ル 製 作	月(時数)	9月(32時間)	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>メダル製作を通して、計る、まるめる、型押しなど型づくりに必要な基本的技能を身につけさせる。</li> <li>メダルが運動会で役立つことをわからせ、意欲的に取り組む態度を身につけさせる。</li> </ul>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
1. 運動会のメダル製作について話し合う。 (1) メダルについて調べる。 ・ 目的、形、色、大きさ (2) 作業の内容について知る。 ・ 手順や方法 ・ 用具の扱い (3) 製作総数を決める。 2. メダルの製作をする。 (1) 目標を決める。 ・ 作業上の態度 ・ 出来高 (2) 役割分担をする。 ・ 粘土の計量   ・ まるめる ・ 成形           ・ 検査 (3) 役割ごとに点検や準備をする。 (4) 製作をする。  <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">土づくり</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">成形</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="margin-right: 5px;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">乾燥</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">素焼き</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="margin-right: 5px;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">釉がけ</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">本焼き</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">←</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">品質検査</div> <div style="margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">納品</div> </div> </div> (5) 用具の後始末をする。 3. 学習のまとめと反省をする。 (1) 出来高調べをする。 (2) 取り組みへの反省をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年の運動会の様子を8ミリで見せたり、メダル見本を示すなどして製作への興味や関心をもたせる。</li> <li>○ つくり方を示範したり、手順を図式化して示したりして、理解しやすいようにする。</li> <li>○ 総数は在籍数に次年度への見本と予備を加えた数で考えさせる。</li> <li>○ 態度目標は単元全体を通したものとし、出来高目標は前時をもとに、毎時決めさせる。</li> <li>○ 役割分担は、できるだけすべての経験ができるようローテーションを組み個々の意欲を高めさせる。</li> <li>○ 必要な用具を確かめさせ、協力し合って準備させる。</li> <li>○ 石膏型は乱暴に扱うと欠損しやすいことをわからせ丁寧に扱わせる。</li> <li>○ 粘土の計量は、計量器にしるしをつけて計りやすくする。</li> <li>○ 型押しは、指先に十分力を入れさせる。</li> <li>○ 作業の流れに応じて、新たな分担をさせたり、分担以外の仕事も協力させる。</li> <li>○ 自己評価をさせたり、出来高を調べさせたりして、目標達成による自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィルム</li> <li>・ メダル見本</li> <li>・ 手順表</li> <li>・ 影写機</li> <li>・ 分担表</li> <li>・ 出来高記録板</li> <li>・ 粘土</li> <li>・ すべり台</li> <li>・ 粘土板</li> <li>・ 計量器</li> <li>・ 石膏型</li> <li>・ 釉薬</li> <li>・ 出来高記録表</li> <li>・ 自己評価表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅴ－1</li> <li>・ 職Ⅴ－2</li> <li>3</li> <li>・ 社Ⅴ－24</li> <li>・ 数Ⅳ－5</li> <li>・ 美Ⅴ－4, 9</li> <li>・ 職Ⅴ－2, 3</li> <li>7</li> <li>・ 美Ⅴ－10</li> <li>・ 職Ⅴ－8</li> <li>12, 13</li> <li>24, 27</li> <li>30</li> <li>・ 数Ⅴ－1</li> </ul>	

題材	れんがの製作(2)	月(時数)	10~11月(44時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが役割を確実に果たすことにより、よい製品ができることを理解させるとともに責任をもって仕事をすすめる態度を身につけさせる。</li> <li>れんが製作に必要な型入れ、型出しなどの基本的な技能を身につけさせる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. れんが製作について話し合う。 (1) 前回のようすを思い出す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>出来高</li> <li>取り組み態度</li> <li>反省点</li> </ul> (2) 作業内容の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>手順や方法</li> </ul> 2. れんがの製作をする。 (1) 目標を決める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>作業上の態度</li> <li>出来高</li> </ul> (2) 役割分担をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>土入れ      土運び</li> <li>成形          検査</li> </ul> (3) 役割ごとに点検や準備をする。 (4) 製作をする。  (5) 用具の後始末をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>用具の手入れ</li> <li>後始末</li> </ul> 3. 学習のまとめと反省をする。 (1) 出来高調べをする。 (2) 製品を保管する。 (3) 取り組みへの反省をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回で製作したれんがや、出来高記録などを示して、よかった点、改善点などを確かめさせる。</li> <li>手順や方法は、簡単な確認をする程度にとどめる。</li> <li>目標は達成可能な内容を設定させ、生産性向上への意欲をもたせる。</li> <li>前回の反省をもとに考えさせるが、前よりも周期を長くしたローテーションを組ませ、量産させる。</li> <li>難しい工程においては、能力に応じて適宜補助し役割がすすめられるようにする。</li> <li>土練機への粘土入れは、細かくちぎって入れさせ、スムーズな操作ができるようにする。</li> <li>作業の流れに応じて、新たな分担をさせたり、分担以外の仕事も協力させたりする。</li> <li>用具の保管場所を表示しておく。</li> <li>取り組みへの自己評価をさせたり、出来高の記録を調べさせたりして、目標達成による自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>れんが製品</li> <li>出来高記録板</li> <li>自己評価表</li> <li>出来高記録板</li> <li>分担表</li> <li>土練機</li> <li>木枠型</li> <li>粘土</li> <li>粘土板</li> <li>川砂</li> <li>出来高記録表</li> <li>自己評価表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数Ⅴ-1</li> <li>社Ⅴ-2 4</li> <li>職Ⅴ-2 4</li> <li>職Ⅴ-1 2, 3</li> <li>職Ⅴ-7 8</li> <li>職Ⅴ-12 13</li> <li>保Ⅴ-4</li> </ul>

題材	タイルの製作	月(時数)	11～3月(88時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイル製作を通して、計る、まるめる、型押しなど型づくりに必要な基本的技能を高める。</li> <li>○ 一人ひとりが役割を確実に果たすことにより、よい製品ができることをわからせ、責任をもって作業に取り組む態度を身につけさせる。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
<p>1. タイル製作について話し合う。</p> <p>(1) タイルの使われ方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用途や使われている場所</li> <li>・ 色、形、大きさ</li> </ul> <p>(2) 製作の目標について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花壇 ・ 遊歩道</li> </ul> <p>(3) 作業の内容について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順や方法</li> <li>・ 用具の扱い</li> </ul> <p>2. タイルの製作をする。</p> <p>(1) 目標を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業上の態度 ・ 出来高</li> </ul> <p>(2) 役割分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘土の計量 ・ まるめる</li> <li>・ 成形 ・ 検査</li> </ul> <p>(3) 役割ごとに点検や準備をする。</p> <p>(4) 製作をする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[土づくり] --&gt; B[成形]     B --&gt; C[乾燥]     C --&gt; D[焼成]     D --&gt; E[品質検査]     E --&gt; F[納品] </pre> </div> <p>(5) 用具の後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具の手入れ ・ 後始末</li> </ul> <p>3. 学習のまとめと反省をする。</p> <p>(1) 出来高調べをする。</p> <p>(2) 製品を保管する。</p> <p>(3) 取り組みへの反省をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際の製品を提示したり、校内で使われている場所や、色、形、大きさなどを調べさせたりして興味や関心を高める。</li> <li>○ 花壇や遊歩道の整備にタイルが活用できることに気づかせる。</li> <li>○ つくり方を示範したり、手順を図式化して示したりして、基本的にはメダルの製作と変わらないことに気づかせる。</li> <li>○ 役割分担は、周期を長くしたローテーションを組ませ、量産させる。</li> <li>○ 必要な用具を確かめさせ、協力し合って準備させる。</li> <li>○ 粘土の計量は、計量器にしるしをつけて計りやすくする。</li> <li>○ 粘土が四隅にゆきわたるように指先に十分力を入れて型押しさせる。</li> <li>○ 作業の流れに応じて、新たな分担をさせたり、分担以外の仕事も協力させたりする。</li> <li>○ 自己評価をさせたり、出来高を調べさせたりして、目標達成による自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイル見本</li> <li>・ 写真</li> <li>・ 製作手順表</li> <li>・ 出来高記録板</li> <li>・ 分担表</li> <li>・ 土練機</li> <li>・ 石膏型</li> <li>・ 粘土</li> <li>・ すべり台</li> <li>・ 計量器</li> <li>・ 粘土板</li> <li>・ 自己評価表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅴ－1</li> <li>・ 職Ⅴ－2</li> <li>3</li> <li>・ 社Ⅴ－24</li> <li>・ 数Ⅳ－5</li> <li>・ 職Ⅴ－2</li> <li>3, 7</li> <li>・ 美Ⅴ－4</li> <li>9</li> <li>・ 美Ⅴ－10</li> <li>・ 職Ⅴ－8</li> <li>12, 13</li> <li>24, 27</li> <li>30</li> <li>・ 数Ⅴ－1</li> </ul>	

## 高等部木工コース

題材	うに箱の製作	月(時数)	4～3月(164時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>うに箱製作に関する作業工程をわからせるとともに、安全な機械操作に慣れさせる。</li> <li>うに箱製作を通して、自分の分担をわからせ、協力して作業をすすめる中で、能率よく、丁寧に製品を作る厳しさや、働く喜びを味わわせる。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. うに箱製作について調べる。 (1) うに箱について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>材料, 材質, 製品の形状</li> <li>材料の入手経路</li> <li>製品の流通経路</li> <li>使用目的</li> </ul> (2) うに箱製作のようすを見学する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>作業工程</li> <li>作業手順</li> <li>機具類</li> <li>働く人々のようす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うに箱の流通経路図や、実際に使用されている場面の写真などを提示して、うに箱への興味・関心をもたせる。</li> <li>見学の前に作業工程や働く人々のようすなどの観点を示して、見学への見通しをもたせる。</li> <li>仕事の内容や働く人々のようすなどについて感想を発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料輸</li> <li>入経路図</li> <li>流通経路図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生Ⅲ10-1</li> <li>社Ⅴ-24</li> <li>職Ⅳ-2</li> <li>Ⅴ-31</li> </ul>	
2. うに箱製作の準備をする。 (1) 作業工程を調べる。 <div style="margin-top: 10px;"> <pre>           graph LR             A[材料の準備] --&gt; B[L打ち]             B --&gt; C[組み打ち]             C --&gt; D[底打ち]             D --&gt; E[製品検査とこん包]           </pre> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学のようすや作業工程表を使ってわかりやすくする。</li> <li>ふしがあるものや接合がずれたものなど不良部品や不良品の見分け方を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業工程表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅳ-14</li> <li>33</li> </ul>	
(2) 機具の設置の仕方を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>機具の設置場所</li> <li>アタッカーの取り付け方</li> <li>配管の仕方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配管等は危険でないように事前に固定しておく。</li> <li>作業の流れにそって設置させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>万力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅳ-11</li> <li>14</li> </ul>	
(3) 手順を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>L打ち</li> <li>組み打ち</li> <li>底打ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台上に下絵を描き間違いなくセットしやすいようにする。</li> <li>アタッカー操作時の手の位置を示して、安全に注意させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品</li> <li>ピン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅳ-4</li> <li>20, 21</li> </ul>	
(4) 試作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全工程を一人ひとりに経験させ、役割分担への見通しをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅳ-20</li> </ul>	



主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>(5) 役割分担をする。</p> <p>3. うに箱を製作する。</p> <p>(1) 仕事に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部品のセット</li> <li>・ 声かけと報告</li> <li>・ 出来高板の使い方</li> <li>・ 数え台の使い方</li> <li>・ ピンの補充</li> </ul> <p>(2) 丁寧に製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不良部品の弁別</li> <li>・ 不良品の弁別</li> </ul> <p>(3) 能率よく製作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能率のよい手順</li> <li>・ 仕事のしやすい部品配置</li> </ul> <p>(4) 役割を交代して製作する。</p> <p>4. 年間の作業の反省をする。</p> <p>(1) 生産高を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人別出来高</li> <li>・ 月別生産高</li> <li>・ 年間生産高</li> <li>・ 年間納品高と収入</li> </ul> <p>(2) 作業態度について反省する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難しかったこと</li> <li>・ 頑張ったこと</li> </ul> <p>(3) 後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業場の清掃</li> <li>・ 機具の手入れと整理整頓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンプレッサーは指導者が操作し全員が引き金にさわっていないことを確認して、空気バルブを開く。</li> <li>○ 製作の経験をもとに能力に応じた分担を考えさせる。</li> <li>○ 役割意識をもたせるために、声かけと報告をさせる。</li> <li>○ 出来高板を用意して、出来高目標をたてやすくする。</li> <li>○ 一人ひとりの一日の出来高は指導者が記録しておく。</li> <li>○ 不良品や不良部品を見分ける選別板を設置し、弁別しやすくする。</li> <li>○ 製作心得を復唱させ、丁寧に作ることの意識化を図る。</li> <li>○ 係を決めて毎日の出来高や月別の生産高を記録させ、製作への意欲を高める。</li> <li>○ 適宜賞賛を与え、仕事への自信をもたせ、製作への意欲を高める。</li> <li>○ 適宜役割を交代させることによって友達の仕事を理解させる。</li> <li>○ グラフを使って月別生産高の変化を調べやすくする。</li> <li>○ 一人ひとりの良かった点を賞賛させ、仕事をやり遂げた喜びを味わわせる。</li> <li>○ ほこりを落としたり、油を差したりするところを表示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分担表</li> <li>・ 出来高板</li> <li>・ 数え台</li> <li>・ 出来高帳</li> <li>・ 不良部品</li> <li>・ 選別板</li> <li>・ 不良品選別板</li> <li>・ 生産グラフ</li> <li>・ 出来高帳</li> <li>・ 潤滑油</li> <li>・ 整備工具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－29</li> <li>・ 職Ⅳ－3</li> <li>23, 32, 33, 34</li> <li>Ⅴ－8</li> <li>・ 数Ⅱ－6</li> <li>8</li> <li>・ 生Ⅲ6－9</li> <li>10, 11</li> <li>・ 職Ⅳ－8</li> <li>9, 35</li> <li>・ 職Ⅴ－7</li> <li>8, 24, 30</li> <li>・ 数Ⅳ－1</li> <li>2</li> <li>・ 職Ⅴ－30</li> <li>・ 数Ⅳ－11</li> <li>Ⅴ－3</li> <li>・ 社Ⅳ－25</li> <li>・ 国Ⅴ－4</li> <li>・ 職Ⅳ－15</li> <li>16, 18</li> </ul>

題材	本立ての製作	月(時数)	4～7月(22時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本立ての製作を通して、木工作業の基本的な工程をわからせ、製作の喜びを味わわせる。</li> <li>○ 木工の基礎的技術を養うとともに、機械や工具類を安全に使用する態度を養う。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 本立ての製作について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 構想をたてる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構想図</li> <li>・ 部品図</li> </ul> </li> <li>(2) 製作の準備をする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料表</li> <li>・ 作業日程</li> <li>・ 必要な工具調べ</li> </ul> </li> </ul> 2. 製作する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 材料どりをする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ けがき</li> <li>・ のこぎりびき</li> </ul> </li> <li>(2) 部品加工をする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かなげずり</li> <li>・ 素地みがき</li> </ul> </li> <li>(3) 組み立てる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接合部のけがき</li> <li>・ 釘打ち</li> <li>・ 仕上げ</li> </ul> </li> <li>(4) 塗装をする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目止め</li> <li>・ 塗装</li> </ul> </li> <li>(5) 後始末をする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工具の手入れ</li> </ul> </li> </ul> 3. まとめと反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞</li> <li>・ 反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作品例を提示して、構想をたてやすくする。</li> <li>○ 構想図や型紙などを使って、どんな部品が必要か考えさせる。</li> <li>○ 工程表をもとに、作業工程や必要な工具類をわからせる。</li> <li>○ 長さの測れない生徒には部品の型を用意する。</li> <li>○ のこぎりびきは2人組とし、補助者の手や体の位置を示し、安全に注意させる。</li> <li>○ かなげずりが難しい生徒には指導者が補助する。</li> <li>○ かなげずりのとき、部品を押える位置を示し、安全に注意させる。</li> <li>○ 釘打ちは2人組とし、協力して作業させる。</li> <li>○ 釘打ちが難しい生徒には下穴をあけて、打ち込みやすくする。</li> <li>○ 接着剤はへらを使用させ、厚く塗り過ぎないようにする。</li> <li>○ 揮発性の強い塗料を使用するときは通風をよくする。</li> <li>○ 木目に沿って塗装させる。</li> <li>○ さびたのこぎりなどを提示して手入れの必要性をわからせる。</li> <li>○ 作品を鑑賞し合い、難しかったことや頑張ったことを発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品例</li> <li>・ 構想図見本</li> <li>・ 部品図見本</li> <li>・ 材料表</li> <li>・ 工程表</li> <li>・ 鉛筆</li> <li>・ さし金</li> <li>・ 部品の型</li> <li>・ のこぎり</li> <li>・ かな</li> <li>・ 紙やすり</li> <li>・ 鉛筆</li> <li>・ さし金</li> <li>・ 接着剤</li> <li>・ 金づち</li> <li>・ 釘</li> <li>・ ドリル</li> <li>・ とのこ</li> <li>・ 塗料</li> <li>・ はけ</li> <li>・ 潤滑油</li> <li>・ 整備工具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－2</li> <li>・ Ⅴ－5</li> <li>・ 職Ⅳ－14</li> <li>・ 職Ⅳ－3</li> <li>・ 4, 6, 14</li> <li>・ 20, 30</li> <li>・ Ⅴ－7</li> <li>・ 職Ⅳ－15</li> <li>・ Ⅵ－4</li> </ul>	

題材	状 差 し の 製 作		月(時数)	9～12月(24時間)	
目 標	○ 状差しの製作を通して、けがきやのこぎりびき、釘打ちなど木工の基礎的技術の向上を図るとともに、自分の役割を責任をもって果たそうとする態度を養う。				
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容		
<p>1. 状差しの製作について話し合う。</p> <p>(1) 状差しについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形と大きさ</li> <li>・材料と部品</li> </ul> <p>(2) 製作の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料表</li> <li>・作業工程</li> <li>・方法</li> <li>・必要な機械、工具調べ</li> </ul> <p>(3) 役割分担をする。</p> <p>2. 状差しを製作する。</p> <p>(1) 製作する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">けがき</div> <div style="font-size: 1.2em; margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">のこぎりびき</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">かなげすり</div> <div style="font-size: 1.2em; margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">焼加工</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">素地みがき</div> <div style="font-size: 1.2em; margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">組み立て</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">仕上げ</div> <div style="font-size: 1.2em; margin: 0 5px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">塗装</div> </div> </div> <p>(2) 後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械、工具の手入れ</li> <li>・ 作業室の清掃</li> </ul> <p>3. まとめと反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品の点検と保管</li> <li>・ 反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はがきや封筒から状差しの大きさや形を考えさせる。</li> <li>○ 製品見本を提示して、材料や部品をわかりやすくする。</li> <li>○ 本立て製作の経験をもとにして、各工程ごとに必要な機械、工具を考えさせ、工程表に記入させる。</li> <li>○ 本立て製作の経験をもとに、能力に応じた分担を考えさせる。</li> <li>○ 作業が難しい生徒には補助したり補助具を工夫したりして抵抗感をやわらげる。</li> <li>○ 出来上がった部品を次の工程へ持っていくときは声かけさせる。</li> <li>○ トーチランプは指導者の補助のもとで使用させる。</li> <li>○ 揮発性の強い塗料を使用するときは風通をよくする。</li> <li>○ 安全に作業できるよう工具の置き方に注意させる。</li> <li>○ 保管場所を表示して整理しやすくする。</li> <li>○ 刃物類はさびないように油引きさせる。</li> <li>○ 難しかった所や頑張ったことを発表させる。</li> <li>○ 役割を分担し、互いに協力して製品を作り上げたことを賞賛し、自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はがき</li> <li>・ 封 筒</li> <li>・ 製品見本</li> <li>・ 材料表</li> <li>・ 工程表</li> <li>・ 機具類</li> <li>・ 分担表</li> <li>・ 鉛 筆</li> <li>・ さし金</li> <li>・ のこぎり</li> <li>・ かな</li> <li>・ トーチランプ</li> <li>・ 紙やすり</li> <li>・ 金づち</li> <li>・ 釘</li> <li>・ ラッカー</li> <li>・ は け</li> <li>・ 潤滑油</li> <li>・ 整備工具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－ 2</li> <li>・ Ⅴ－ 6</li> <li>・ 職Ⅳ－14</li> <li>・ 職Ⅳ－29</li> <li>・ 職Ⅳ－ 6</li> <li>・ 8, 20, 21, 30</li> <li>・ Ⅴ－ 8</li> <li>・ 職Ⅳ－15</li> <li>・ 18</li> <li>・ 国Ⅴ－ 4</li> </ul>		

題材	もろふたの製作	月(時数)	1～3月(22時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>もろふたの製作を通して、けがきやのこぎりびき、釘打ちなどの木工の基礎的技能を生かして、互いに協力し、製品を完成させる喜びを味わわせる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. もろふたの製作について話し合う。 (1) もろふたについて調べる。 ・ 用途 ・ 形と大きさ ・ 材料と部品 (2) 製作の目的について話し合う。 ・ バザー製品 ・ 自家用 (3) 製作の準備をする。 ・ 材料表 ・ 作業工程 ・ 方法 ・ 必要な工具 (4) 役割分担をする。 2. もろふたを製作する。 (1) 製作する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             けがき → のこぎりびき           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             かんなけずり → 素地みがき           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             組み立て → 仕上げ           </div> (2) 後始末をする。 ・ 工具の手入れ ・ 作業室の清掃 3. まとめと反省をする。 ・ 製品の点検と保管 ・ 反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品見本を提示して、用途や形、大きさなどについて考えさせ、製作への興味・関心をもたせる。</li> <li>一部がバザーでの販売品となることを知らせ、正確に作るように意識づける。</li> <li>工程表をもとに、作業工程や必要な工具について調べさせる。</li> <li>これまでの経験により、能力に応じた分担を考えさせる。</li> <li>部品見本と比べさせ、間違えないように作業させる。</li> <li>分担は適宜交代させ、経験を深める。</li> <li>適宜補助や賞賛を与え、分担の仕事に積極的に取り組ませる。</li> <li>のこぎりびきや組み立てでは補助者の手や体の位置を示し、安全に作業させる。</li> <li>安全に作業できるよう工具の置き方に注意させる。</li> <li>刃物類には油引きして、所定の位置に保管させる。</li> <li>釘のとびだしや割れなどを点検させる。</li> <li>難しかったことや頑張ったことを発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品見本</li> <li>材料表</li> <li>工程表</li> <li>工具類</li> <li>分担表</li> <li>部品見本</li> <li>鉛筆</li> <li>さし金</li> <li>のこぎり</li> <li>かん</li> <li>紙やすり</li> <li>金づち</li> <li>釘</li> <li>潤滑油</li> <li>整備工具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅳ－2</li> <li>V－6</li> <li>職Ⅳ－14</li> <li>職Ⅳ－29</li> <li>職Ⅳ－6</li> <li>8, 20, 21, 30</li> <li>V－8</li> <li>24</li> <li>職Ⅳ－15</li> <li>18</li> <li>職Ⅳ－35</li> <li>・国Ⅴ－4</li> </ul>

高等部調理・縫製コース

題材	ぞうきん製作	月(時数)	4～3月(150時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぞうきん製作を通して、手縫いやミシン縫いの基礎的な技能を身につけさせる。</li> <li>分担作業を通して、自分の役割を根気強くやり遂げる態度を養う。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>1. ぞうきん製作について話し合う。</p> <p>(1) ぞうきんの用途を調べる。</p> <p>(2) 製作の目的について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動</li> <li>施設への奉仕</li> </ul> <p>2. 製作の計画を立て、準備をする。</p> <p>(1) 材料や用具、工程を調べる。</p> <p>(2) ぞうきんを縫う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手縫い ・ ミシン縫い</li> </ul> <p>(3) 年間の製作計画表を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標 ・ 活動内容</li> </ul> <p>(4) 役割を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>係名 ・ 仕事内容</li> </ul> <p>(5) 用具を準備する。</p> <p>3. 分担作業でぞうきんを製作する。</p> <p>(1) 製作をする。</p> <pre>         graph LR             A[洗濯] --&gt; B[アイロンかけ]             B --&gt; C[裁断]             C --&gt; D[印つけ]             D --&gt; E[しつけ縫い]             E --&gt; F[本縫い]             F --&gt; G[仕上げ]             G --&gt; A             </pre>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や学校での日常の清掃活動にぞうきんがよく使われていることから、年間を通した生産学習とすることを知らせ、製作への意欲を喚起する。</li> <li>工程表に材料や用具を記入させ、作業の手順や内容をわからせる。</li> <li>一人一作の製作を通して、縫い方の手順を理解させるとともに、個々の能力や実態を把握する。</li> <li>年間の大まかな計画を立て、活動への見通しをもたせる。</li> <li>個人製作の結果を参考にして役割分担をさせる。</li> <li>用具は各係で責任をもたせる。</li> <li>洗濯は全員に経験させ、洗濯機や乾燥機の取り扱いに慣れさせる。</li> <li>補助具を能力に応じて準備し、作業への抵抗感を和らげる。</li> <li>アイロンは安全に置くように絶えず確認する。</li> <li>本縫い係は、縫い始めと縫い終りの返し縫いを忘れないように確認させる。</li> <li>作業の準備や終わりには安全を点検させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぞうきん</li> <li>販売帳</li> <li>工程表</li> <li>ウエス</li> <li>手順表</li> <li>裁縫用具</li> <li>ミシン</li> <li>年間計画表</li> <li>係札</li> <li>裁縫用具</li> <li>ウエス他</li> <li>作業服</li> <li>洗濯機</li> <li>乾燥機</li> <li>工程表</li> <li>型紙</li> <li>アイロン</li> <li>アイロン台</li> <li>ものさし</li> <li>ミシン</li> <li>裁縫用具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社Ⅴ－5</li> <li>国Ⅴ－7</li> <li>職Ⅴ－31</li> <li>国Ⅴ－18</li> <li>社Ⅴ－26</li> <li>職Ⅴ－27</li> <li>社Ⅴ－24</li> <li>家Ⅴ－35</li> <li>生Ⅲ－1－32</li> <li>職Ⅴ－1</li> <li>10, 11</li> <li>職Ⅴ－24</li> <li>生Ⅲ－6－9</li> <li>10, 11</li> <li>職Ⅴ－14</li> <li>職Ⅴ－15</li> </ul>

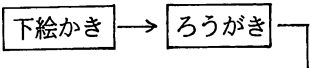
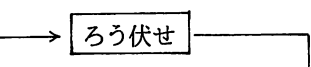
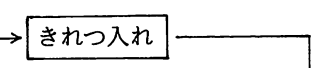
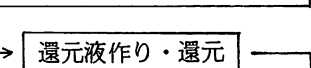
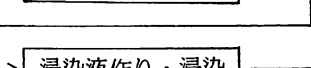
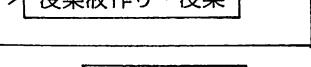
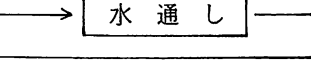
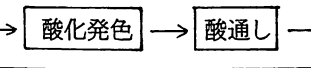
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(2) 後始末をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具の整理・整とん</li> <li>・ 作業室の整理・整とん</li> </ul> 4. 学習のまとめをする。           (1) 取り組みへの反省をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出来高調べ</li> <li>・ 作業態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 適宜役割を交代させ、いろいろな仕事を経験させる。</li> <li>○ 用具は表示された場所や棚に保管させる。</li> <li>○ ミシンは糸くずやほこりを除去し、油を差して始末させる。</li> <li>○ 個人記録表を基に一人ひとりの役割の意義をわからせ、目標達成への自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラベル</li> <li>・ ミシン油</li> <li>・ 清掃用具</li> <li>・ 布</li> <li>・ 個人記録表</li> <li>・ 出来高表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社Ⅴ-24</li> <li>・ 生Ⅲ-6-5</li> <li>・ 家Ⅴ-24</li> <li>・ 家Ⅴ-33</li> <li>・ 職Ⅴ-2</li> <li>・ 職Ⅴ-18</li> </ul>
題材	調理Ⅰ カレーライス・サラダ	月(時数)	6月(8時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ カレーライスやサラダの作り方を理解させるとともに、野菜の切り方や煮方、盛りつけ方などの調理の基礎的な技能を身につけさせる。</li> <li>○ 会食を通して作る喜びを味わわせ、自分からすすんで調理しようとする態度を養う。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. カレーライスやフルーツポンチについて調べる。           (1) 材料を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぶた肉 ・じゃがいも ・油</li> <li>・ キャベツ ・きゅうりなど</li> </ul> (2) 作り方や手順を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料の洗い方と切り方</li> <li>・ 手順 ・ コンロの使い方</li> </ul> (3) 役割を分担する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カレーライス班</li> <li>・ サラダ班</li> </ul> (4) 材料や用具の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料購入</li> <li>・ 食器 ・ 用具</li> </ul> 2. 調理をする。           (1) 材料や調味料の分量を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分量調べ ・ 計量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの経験を基に、材料や主な手順などを想起させて、調理への興味・関心をもたせる。</li> <li>○ 献立の盛りつけ写真や経験から材料を調べさせる。</li> <li>○ 安全な調理用具の使い方ができるように示範にそって、包丁のもち方や野菜の切り方を練習させる。</li> <li>○ 役割は、調理用具の扱い方や野菜の切り方の実態に基づいて決めさせる。</li> <li>○ 材料購入から準備まで班ごとに分担させて役割意識を高める。</li> <li>○ 手洗いや服装を確認する。</li> <li>○ 材料や調味料の分量は図で示す。</li> <li>○ 計量器の扱いは示範にそって全員に練習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 献立集</li> <li>・ 宿泊学習のしおり</li> <li>・ 写真</li> <li>・ 食材料</li> <li>・ 包丁</li> <li>・ まな板</li> <li>・ じゃがいも・人参</li> <li>・ 分担表</li> <li>・ 炊飯器</li> <li>・ 食器</li> <li>・ ぶた肉他</li> <li>・ 三角布他</li> <li>・ 計量器</li> <li>・ 砂糖・油</li> <li>・ 食材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理Ⅴ-5</li> <li>・ 家Ⅴ-16</li> <li>・ 保Ⅳ-2-6</li> <li>・ 国Ⅴ-4</li> <li>・ 国Ⅴ-3</li> <li>・ 家Ⅴ-21</li> <li>・ 家Ⅴ-35</li> <li>・ 職Ⅴ-24</li> <li>・ 家Ⅴ-17</li> <li>・ 保Ⅴ-2-1</li> <li>・ 家Ⅴ-18</li> <li>・ 数Ⅴ-3</li> <li>・ 職Ⅴ-6</li> </ul>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(2) カレーライスを作る。 ・ 米洗いと炊飯 ・ 野菜洗いと切り方 ・ 煮込み方と調味	○ 米の量と水の量を図で示す。 ○ 安全を確認させてから野菜を切らせる。 ○ 煮込む順番を表で示す。	・炊飯器 ・分量図 ・食材料 ・調理用具 ・コンロ	・家Ⅴ－ 2 ・職Ⅴ－ 24 ・職Ⅴ－ 14 ・職Ⅴ－ 15
(3) サラダを作る。 ・ 野菜の洗い方 ・ 野菜の切り方	○ 葉菜類は流水で一枚ずついいに洗わせる。ドレッシングは市販のものを利用してよい。	・食材料 ・砂糖 ・分量表	・家Ⅴ－ 18 ・数Ⅴ－ 3 ・職Ⅴ－ 14
(4) 盛りつけと配ぜんをする。	○ 盛りつけは、分量見本を提示して一人分の分量がわかるようにする。	・分量見本 ・スプーン ・食器	・家Ⅴ－ 20
3. 会食をする。	○ 会食することによって、作り上げた喜びを味わわせる。	・フォーク	・生Ⅲ－ 1-3
4. 後始末をする。 ・ 食器洗いと用具の整理 ・ 調理室の清掃	○ 油気のある食器や用具は、お湯で洗わせる。 ○ 洗う、ふく、棚に整理する、掃くなど役割分担させて始末させる。	・お湯 ・中性洗剤 ・ふきん ・清掃用具	・生Ⅲ－ 1-4 ・家Ⅴ－ 24 ・家Ⅴ－ 35
5. 学習のまとめをする。 ・良くできた点 ・工夫した点 ・次に作りたい料理	○ 出来ばえを中心に話し合わせ、調理の喜びを味わわせる。	・実習帳	・国Ⅴ－ 4 ・職Ⅴ－ 18
題 材	調理Ⅱ たきこみ飯・かきたま汁	月(時数)	9月(8時間)
目 標	○ たきこみ飯の水加減や具の分量と切り方、かきたま汁のだしのとり方などを理解させるとともに、協力して安全に調理を進める態度を養う。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. たきこみ飯やかきたま汁について調べる。 (1) 材料を調べる。 ・とり肉 ・にんじん・卵など (2) 作り方や手順を調べる。 ・材料の洗い方 ・具の切り方 ・手順 ・コンロの使い方 (3) 役割を分担する。 ・ 班決めと役割分担 ・ 各係の仕事内容	○ 献立集や盛りつけ写真を提示して、いろいろな材料が使っていることをわからせる。 ○ 作り方を基に手順を考えさせる。 ○ コンロの使い方や包丁の使い方は示範にそって全員に練習させる。 ○ 包丁やコンロの取り扱い方の実態に基づいて役割を決めさせる。	・献立集 ・盛りつけ写真 ・まな板 ・包丁 ・コンロ ・分担表	・理Ⅴ－ 5 ・家Ⅴ－ 12 ・家Ⅴ－ 16 ・家Ⅴ－ 21 ・家Ⅴ－ 22 ・職Ⅴ－ 11 ・社Ⅴ－ 24 ・家Ⅴ－ 35

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(4) 材料や用具の準備をする。 ・材料購入 ・食器 ・用具  2. 調理をする。 (1) 材料や調味料の分量を調べる。 ・分量調べ ・計量 (2) たきこみ飯を作る。 ・米洗いと炊飯準備 ・野菜洗いと切り方 ・具の下煮とたきこみ (3) かきたま汁を作る。 ・煮だし汁とり ・卵のほぐし方と流し入れ ・水溶きでんぶんの流し入れ (4) 盛りつけと配ぜんをする。  3. 会食をする。  4. 後始末をする。 ・食器洗いと用具の整理 ・調理室の清掃 5. 学習のまとめをする。 ・良くできた点 ・工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料購入から用具の準備まで班ごとに分担させ役割意識を高める。</li> <li>○ 材料や調味料の分量を図で示し、図と対応させて間違わないように計量させる。</li> <li>○ 米と水の量を図で示す。</li> <li>○ 刃物の置き方に気をつけさせる。</li> <li>○ 煮込み手順表にそって具を煮込ませる。</li> <li>○ 汁を煮こぼさないように火加減に気をつけさせる。</li> <li>○ 二人組を作り、均一に卵を流し入れさせる。</li> <li>○ 盛りつけは、分量見本を提示して、一人分の分量がわかるようにする。</li> <li>○ 会食することによって、作り上げた喜びを味わわせる。</li> <li>○ 洗う、ふく、棚に整理する、掃くなど役割分担させて始末させる。</li> <li>○ 全員に感想を発表させ、調理への意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理用具</li> <li>・食器</li> <li>・食材料</li> <li>・分量図</li> <li>・計量器</li> <li>・食材料</li> <li>・分量図</li> <li>・炊飯器</li> <li>・米・人参</li> <li>・調理用具</li> <li>・手順表</li> <li>・コンロ</li> <li>・こんぶ</li> <li>・卵</li> <li>・でんぶん</li> <li>・分量見本</li> <li>・盆・はし</li> <li>・食器</li> <li>・中性洗剤</li> <li>・たわし</li> <li>・実習帳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家Ⅴ－17</li> <li>・家Ⅴ－18</li> <li>・数Ⅴ－3</li> <li>・職Ⅴ－6</li> <li>・家Ⅴ－21</li> <li>・職Ⅴ－24</li> <li>・家Ⅴ－18</li> <li>・数Ⅴ－3</li> <li>・職Ⅴ－6</li> <li>・家Ⅴ－20</li> <li>・生Ⅲ－1-3</li> <li>・生Ⅲ－1-4</li> <li>・家Ⅴ－24</li> <li>・家Ⅴ－35</li> <li>・国Ⅴ－4</li> <li>・職Ⅴ－18</li> </ul>

題 材	染色による小物作り	月(時数)	10～11月(24時間)
目 標	○ 染色による小物作りを通して、縫い方や染色の基礎的技能を身につけさせるとともに、創意工夫する態度を養う。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 染色について話し合う。 (1) いろいろな染色法を調べる。 ・ろうけつ染め ・絞り染め他 (2) ろうけつ染めについて調べる。 ・特徴 ・材料と用具 ・手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな作品を展示して、染色へ興味・関心をひき出す。</li> <li>○ 作品見本からろうけつ染めの美しさに気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色作品</li> <li>・ろうけつ染めの作品見本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家Ⅴ－26</li> <li>・美Ⅴ－14</li> <li>・国Ⅴ－4</li> <li>・国Ⅴ－7</li> </ul>



主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(3) 作品を決める。 ・ハンカチ ・袋物など	○ 作品見本を提示して製作品を決めさせ、製作意欲をひき出す。	・作品見本	・美Ⅴ-14
2. 製作する。			
(1) 材料や用具を準備する。 ・布 ・染料 ・染色用具	○ 材料や用具、手順を工程表に示し、製作への見通しをもたせる。	・工程表 ・布	・生Ⅲ-1-32 ・美Ⅴ-5 ・美Ⅴ-11
(2) 染色する。	○ あらかじめ布は洗濯して、のり抜きしておく。	・はかり	
	○ 下絵かきからきれつ入れまでは個人で取り組ませる。	・工程表	・職Ⅴ-2 ~8
	○ 時間や染料・染液の分量を間違えないように確認する。	・ろう筆	・職Ⅴ-11
	○ 還元液作りからソーピングまでの作業は役割を分担して作業を進めさせる。	・計量カップ	
	○ 新聞紙を敷いて、台が汚れないように気をつけさせる。	・時計 ・温度計	・職Ⅴ-14 15, 16
	○ 道具や器具は用具箱にきちんとそろえさせる。	・干し台 ・新聞紙	・職Ⅴ-11
	○ 火気の取り扱いに留意させる。	・ガラス棒	・生Ⅲ-5-4
	○ ソーピングの後、ろうが落ちるまで水洗いを念入りにさせる。	・ゴム手袋 ・たらい	・理Ⅴ-16
	○ 縁縫いは能力に応じて、手縫い、ミシン縫いを取り入れる。	・染色セット	・職Ⅴ-24
(3) 縁縫いをする。	○ 縁縫いは能力に応じて、手縫い、ミシン縫いを取り入れる。	・アイロン ・仕上げ台	・家Ⅴ-6 ・家Ⅴ-7
(4) 後始末をする。 ・用具の始末 ・室内の清掃	○ 縁縫いは能力に応じて、手縫い、ミシン縫いを取り入れる。	・裁縫用具 ・ミシン	・家Ⅴ-8 ・家Ⅴ-9
(4) 後始末をする。 ・用具の始末 ・室内の清掃	○ 用具に付着したろうや染料をよくふきとってから、始末させる。	・ものさし	
(4) 後始末をする。 ・用具の始末 ・室内の清掃	○ 用具に付着したろうや染料をよくふきとってから、始末させる。	・中性洗剤 ・清掃 具	・職Ⅴ-13 ・家Ⅴ-24
3. 学習のまとめをする。	○ 全員の作品を展示して、仕上げた喜びを味わわせるとともに、互いの作品の出来ばえを話し合わせて、作品作りに自信をもたせる。	・作品展示 ・板	・美Ⅴ-14
(1) 作品を鑑賞する。	○ 全員の作品を展示して、仕上げた喜びを味わわせるとともに、互いの作品の出来ばえを話し合わせて、作品作りに自信をもたせる。	・実習帳	・国Ⅴ-18
(2) 感想を発表する。 ・難しかった点 ・工夫した点 ・良くできた点	○ 全員の作品を展示して、仕上げた喜びを味わわせるとともに、互いの作品の出来ばえを話し合わせて、作品作りに自信をもたせる。		・職Ⅴ-2

題 材	調理Ⅲ デコレーションケーキとクッキー	月(時数)	12月(10時間)
目 標	○ デコレーションケーキやクッキー作りを通して、工夫して作る楽しさや喜びを味わわせる とともに分量のはかり方や天火の使い方などの調理の基礎的な技能を身につけさせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1. デコレーションケーキやクッキーについて調べる。 (1) 材料を調べる。 ・薄力粉 ・卵 ・無塩バター ・生クリーム ・砂糖など (2) 作り方や手順を調べる。 ・生地づくり方 ・スポンジ台の作り方と飾り方 ・手順 ・天火の使い方 (3) 材料や用具の準備をする。 ・材料購入 ・食器 ・用具 2. 調理をする。 (1) 材料や調味料の分量を調べる。 ・薄力粉 ・卵 ・無塩バター ・生クリーム ・砂糖など (2) 生地をつくる。 ・クッキーやスポンジの生地 ・型抜きや流し込み (3) 焼く。 (4) 飾りつけをする。 ・ホイップクリームづくり ・飾りつけ (5) 試食する。 ・紅茶入れ ・試食 3. 後始末をする。 ・食器洗いと用具の整理 ・調理室の清掃 4. 学習のまとめをする。 ・良くできた点 ・工夫した点	○ 学部クリスマス会の写真などにより、ケーキ作りの目的をわからせケーキ作りへの意欲を喚起する。 ○ 食べたり、作ったりした経験に基づいて材料を調べさせる。 ○ 作り方を表に示して手順を考えさせる。 ○ 天火の使い方を示範して、全員に火力調節のし方を練習させる。 ○ グループごとに分担させ全員に一貫したケーキ作りを経験させる。 ○ 分量は図で示し、すり切り棒を使って薄力粉や砂糖などを計量させる。 ○ 天火は換気やガスの開閉など、安全に気をつけさせる。 ○ タイマーをセットしてスポンジ台焼きの時間をわからせる。 ○ 生徒のアイデアをとり入れて、グループごとに飾りつけをさせる。 ○ 焼いたケーキやクッキーを鑑賞したり試食したりして出来ばえを調べさせる。 ○ クリスマス会用のケーキは型を整えケースに納めさせる。 ○ 役割を分担して清掃させる。 ○ 出来ばえを中心に話し合わせ、調理の喜びを味わわせる。	・クリスマス会の写真 ・薄力粉 ・食材料 ・作り方表 ・天火 ・分担表 ・食材料 ・用具など ・粉ふるい ・食材料 ・すり切り棒など ・エプロン ・マスク ・タイマー ・調理用具 ・塗りへら ・絞り出し袋など ・紅茶・皿 ・フォーク ・収納ケース ・清掃用具 ・ケーキ ・実習帳	・理Ⅴ－5 ・家Ⅴ－12 ・国Ⅴ－3 ・職Ⅴ－24 ・家Ⅴ－35 ・職Ⅴ－6 ・職Ⅴ－7 ・数Ⅴ－4 ・職Ⅴ－4 ・職Ⅴ－11 ・家Ⅴ－18 ・家Ⅴ－21 ・生Ⅲ－2-10 ・家Ⅴ－20 ・職Ⅴ－6 ・職Ⅴ－7 ・家Ⅴ－12 ・家Ⅴ－14 ・家Ⅴ－15 ・職Ⅴ－2 ・国Ⅴ－18

題材	編 織 物	月(時数)	1~2月(32時間)	
目 標	○ かぎ針編みの編み物の製作を通して、くさり編み、細編み、長編みなどの基礎編みの技能を身につけさせるとともに、継続して根気強く作る態度を養う。			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
1. 編み物について話し合う。 (1) いろいろな編み物を調べる。 ・ 着用品    ・ 装飾品  (2) 製作するものを決める。 ・ マフラー   ・ 花びん敷など  2. 製作の準備をする。 (1) 材料や用具を準備する。 ・ 毛糸   ・ かぎ針   ・ ものさし ・ 毛糸針   ・ 糸切りはさみなど  (2) 基礎編みをする。 ・ くさり編み ・ 細編み ・ 長編み  3. 製作する。 (1) 採寸する。 (2) 型紙を作る。 (3) 編む。 (4) 仕上げる。  4. 学習のまとめをする。 (1) 作品を鑑賞する。 (2) 感想を発表する。 ・ 難しかった点   ・ 工夫した点 ・ 良くできた点	○ 編み物の作品見本を展示して、編み物の特色や役立て方などを話し合わせ、製作への興味・関心をもたせる。  ○ 能力に応じて作品を決めさせる。  ○ 用具は種類ごとに分けて準備しておく。 ○ 編み針と糸の太さの関係は、実物を提示してわからせる。  ○ 掛図によって、基礎編みの手順を示し、編み方を示範する。 ○ くさり作りやくさり編みは能力に応じて、補助しながら全員に経験させる。  ○ 能力によっては簡単なもよう編みを取り入れて製作させる。 ○ 一人で基礎編みのできない生徒には、毛糸刺しの作品を作らせる。  ○ 作品見本の実物を基に採寸や型紙作りをさせる。 ○ 糸端や結び目の始末を確認させる。  ○ 身につけさせたり、室内に飾ったりして、互いに鑑賞し合わせ、成就感を味わわせる。	・ 毛糸 ・ 作品見本  ・ マフラー ・ 花びん敷  ・ かぎ針 ・ 毛糸  ・ 毛糸編みの掛図 ・ 毛糸 ・ かぎ針  ・ 毛糸 ・ かぎ針 ・ 厚紙 ・ 作品見本 ・ 毛糸針 ・ ものさし ・ マット ・ 糸切りはさみ  ・ 作品展示板 ・ 実習帳	・ 家Ⅴ-4 ・ 家Ⅴ-28 ・ 保Ⅳ-2-2 ・ 美Ⅴ-14  ・ 生Ⅲ-1-31  ・ 職Ⅴ-3  ・ 職Ⅴ-7 ・ 職Ⅴ-8  ・ 職Ⅴ-6 ・ 職Ⅴ-15 ・ 家Ⅴ-10 ・ 家Ⅴ-11 ・ 美Ⅴ-5  ・ 職Ⅴ-2 ・ 美Ⅴ-5 ・ 国Ⅴ-18	

## 高等部印刷コース

題材	印刷作業の準備	月(時数)	4月(20時間)	
目標	○ 手引フット印刷は、工程によっていろいろの機械や器具が使われることをわからせ、その取り扱いや手入れに慣れさせるとともに、安全に留意する態度を身につけさせる。			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 印刷作業室を整備する。 (1) 機械・器具の手入れをする。 ・ 機械の注油とならし操作 (2) 活字や込物等の整理をする。 ・ 活字の種類や大きさ ・ 込やインテルの種類 ・ 活字ケースの見方  2. 器具の名称や用途を調べる。 ・ 活字、文選箱、チース、組み盆、込、インテル、ジャッキ、ハンドル、ならし木、ピンセット、組み木、罫など  3. 活版印刷の基本的な工程を知る。 ・ 文選 ・ 植字 ・ 校正 ・ 印刷 ・ 解版 ・ 返版など	○ 最初の段階として、印刷の経験のある生徒を中心にしながら、道具の扱い方や簡単な手入れの仕方をわからせておくようにする。  ○ 込物については、幅や厚さ、大小の弁別が難しい生徒には、補助具を用意してわからせる。  ○ いろいろの器具の使い方や作業の工程については、保管された具体的な見本を提示して作業全体の見通しをもたせるようにする。  ○ 工程については、前年度の作品見本や工程ごとの見本などを提示して作業の流れをわからせる。	・ 整備工具  ・ 活字見本 ・ 込箱 ・ 活字ケース  ・ 印刷見本 綴り ・ 作業工程表  ・ 作品見本版	・ 国Ⅴ－3 12 Ⅳ－13 ・ 数Ⅰ－8 Ⅱ－1, 2 ・ 美Ⅴ－9, 10 ・ 保Ⅳ－1 Ⅴ－4, 10 ・ 社Ⅴ－2 ・ 職Ⅴ－1, 4 12, 13 Ⅳ－40 ・ 家Ⅳ－26	
題材	名刺印刷	月(時数)	5～7月(48時間)	
目標	○ 5号、6号、18ポ活字の利用や込物・インテルなどの扱い方を通して活版印刷に必要な基礎的知識・技能を養うとともに、協力して仕事をする楽しさを味わわせる。			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 名表をつくる。 (1) 活字ケースの配列を調べる。 ・ 部首ごとの並び方 ・ かな文字や特殊文字 (2) 学級の人の名前を文選する。 ・ 使用活字と文選の仕方(5号活字、18ポ活字、文選箱) (3) 名前の組み方を練習する。 ・ 活字と込の関係(号数、倍	○ 文字カードによって文字を分解したり、部首ごとにそろえたりして部首や画数に気づかせる。  ○ 身近な人の名前を取り扱うことにより、文選作業への意欲をひき出す。  ○ ネッキによって活字の向きを確か	・ 文字カード ・ 部首一覧表 ・ 学級名簿	・ 生4－1, 2 6－Ⅲ－9 ・ 国Ⅲ－17 Ⅳ－3 ・ 数Ⅰ－6, 7 Ⅱ－2, 8 ・ 職Ⅳ－7 11	

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
角、分物) ・ 基本的な組み方の練習(三文字、四文字、五文字) ・ 名表の組版(罫の使い方) (3) 印刷する。 ・ ゲラ刷りと校正 ・ 本刷り (4) 解版する。 ・ 活字の取り扱い方 ・ 返版の仕方	めさせる。 ○ 名刺見本と対比させ、文字の間隔や込の配置の仕方を考えさせる。 ○ 罫の切断、組み方に慣れさせる。 ○ 見本と比べさせて、バランスやインクの濃淡に気づかせる。 ○ 刷りは、二人組で行い、絶えず声かけを励行させて、指をはさまないように安全に気をつけさせる。	・ 組み盆 ・ 込箱 ・ 作品乾燥箱 ・ 込箱	14, 31 V-2, 3 10 ・職V-16 ・生III-6-9 ・数II-1, 2
2. 名刺の印刷をする。 (1) 住所や肩書の組み方を調べる。 ・ 活字の大きさと文選 ・ インテルや込の使い方 (2) 名刺印刷の練習をする。 ・ 用紙の位置とピンの打ち方 ・ 校正刷り(活字の向き、誤植の訂正) ・ 胴圧やインク量の調整 ・ 製品の取り扱い方 (3) 受注印刷の準備をする。 ・ 必要な用具の点検 ・ 作業工程と分担 ・ 見本印刷と注文とり (4) 分担作業をする。 ・ 文選と活字整理 ・ 組版と解版 ・ 刷りと製品整理 (5) 納品をする。	○ 名刺の見本を見ながら活字の大きさや種類をきめたり、活字の間隔や行間を考えて組版させたりする。 ○ 自分や家族の人の名刺を素材にして練習させ、家庭と連絡をとり、できばえを賞賛し合うことによって、名刺印刷への動機づけを図る。 ○ 印刷物が汚れる原因について考えさせ、製品の取り扱い方に気をつけたり、手をきれいに保ったりする習慣を身につけさせておく。 ○ 一人ひとりの興味や技能を考慮し、各自の分担内容をしっかり理解させ目標をたてて仕事をやりぬく心構えをもたせる。 ○ 出張活字についてわからせ、活字返しに気をつけさせる。	・ 名刺見本 ・ 文選箱 ・ ピン・針 ・ 整備工具 ・ 作業工程表 ・ 印刷申し込み書 ・ 乾燥台 ・ 古新聞 ・ 納品書	・生4-II-1 2 ・職V-2 ・美III-11 ・職IV-29 30, 35 V-24 27, 30 ・保IV-1 ・社IV-8 V-24 ・国IV-3 V-14 ・数II-1 ・美V-10 ・理V-15 ・職V-13 ・家V-24 33
3. 後始末をする。 (1) 道具や機械の手入れをする。 (2) 込や活字の整理をする。 (3) 作業室の清掃をする。	○ 用具の保管場所を確認させ、用途別に分類させて、所定位置に整頓することの大切さに気づかせる。	・ 灯油 ・ 古布	

題 材	賞 状 の 印 刷	月(時数)	9月(12時間)	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな印刷物によって使用する活字の種類や大きさが違うことに気づかせる。</li> <li>○ 自分たちの賞状を協力して作る喜びを味わわせるとともに、分担の仕事にすすんで取り組む態度を身につけさせる。</li> </ul>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
<p>1. 賞状印刷について話し合う。</p> <p>(1) いろいろの賞状について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品展の賞状</li> <li>・ 持久走大会や運動会の賞状</li> <li>・ 活字の種類と大きさ</li> <li>・ 版の大きさ</li> </ul> <p>(2) 賞状印刷の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷する賞状(学部用, 学校用など)</li> <li>・ 印刷のスタイル(縦組, 横組など)</li> <li>・ 使用する活字</li> <li>・ 作業工程と分担</li> </ul> <p>2. 賞状を印刷する。</p> <p>(1) 印刷の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷機や用具の整備</li> <li>・ 込やインテルの整備</li> <li>・ 原稿と活字の号数確認</li> </ul> <p>(2) 分担の仕事をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR     A[文選] --&gt; B[植字と組付]     B --&gt; C[仮刷と校正]     C --&gt; D[本刷]     D --&gt; E[解版]     C --&gt; A     </pre> </div> <p>(3) 作品の整理をする。</p> <p>3. 後始末をする。</p> <p>(1) 機械の手入れをする。</p> <p>(2) 用具の整理・整とんをする。</p> <p>(3) 作品見本を綴じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろの賞状見本を提示してこれまでもらったことのある賞状などについて思いおこさせ、賞状印刷への意欲を高める。</li> <li>○ 見本にならって賞状の大きさをきめさせる。</li> <li>○ 夏休み明けの作品展賞状や運動会の賞状等を取りあげるようにする。</li> <li>○ 分担は、印刷技能の高い生徒を中心としてチームを組み、補助を要する生徒にも幅広く経験させる。</li> <li>○ 倍数尺によって活字の大きさや行数を調べたり、分物、クワタなどの込物の種類をきめさせる。</li> <li>○ 活字には、いろいろの種類があることに気づかせ、原稿にそって特殊活字ケースより文選させる。</li> <li>○ インクを万遍なく練りのばすように気をつけさせる。</li> <li>○ 一枚ずつ丁寧に取り扱わせる。</li> <li>○ 込物の整理は、全員であたらせ分物、クワタなどに分類させて、込箱に正確に返させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賞状見本</li> <li>・ 活字見本</li> <li>・ 用紙見本</li> <li>・ 倍数尺</li> <li>・ 国語辞典</li> <li>・ 作業工程表</li> <li>・ 倍数尺</li> <li>・ 文選箱</li> <li>・ ピンセツト</li> <li>・ 込箱</li> <li>・ 組盆</li> <li>・ インテル</li> <li>・ 賞状用紙</li> <li>・ 灯油</li> <li>・ 古布</li> <li>・ 整備工具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国Ⅴ-4, 7</li> <li>・ 職Ⅴ-31</li> <li>・ 職Ⅴ-1, 2</li> <li>・ 理Ⅳ-13</li> <li>・ 24, 27</li> <li>・ 国Ⅴ-12</li> <li>・ 社Ⅴ-24</li> <li>・ 国Ⅴ-3</li> <li>・ 社Ⅳ-2, 8</li> <li>・ 職Ⅴ-10</li> <li>・ 24, 30</li> <li>・ 理Ⅴ-15</li> <li>・ 職Ⅴ-12</li> <li>・ 13</li> </ul>	

題 材	封 筒 の 印 刷	月(時数)	9～10月(24時間)	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろの種類の活字や込、罫を組み合わせた組版の仕方に慣れさせる。</li> <li>○ 学校で使う封筒を印刷することにより、働く喜びを味わわせ、仕事を丁寧に根気強く続ける態度や習慣を養う。</li> </ul>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
1. 封筒印刷について話し合う。 (1) 印刷計画をたてる。 ・ 校用封筒の種類 ・ 印刷部数と日程 (2) 必要な材料を調べる。 ・ 活字の大きさや種類 ・ 込、インテルと罫 ・ 工程順と必要な道具 ・ 封筒の枚数調べ  2. 印刷の準備をする。 (1) 分担をきめ、用具をそろえる。 (2) 封筒印刷の練習をする。 ・ 組版……活字の確認 ・ 刷り……胴圧やインク量の調整方法 ・ 製品整理の仕方  3. 分担の仕事をする。 ・ 印刷機の操作 ・ 封筒差し込み ・ 製品の乾燥と整理  4. 後始末をする。 (1) 活字や込物を分類する。 ・ 込箱の整理(分物、角物、倍物の分類) ・ 活字返し(正楷、明朝) (2) 製品を納品する。 ・ 梱包と納品	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校で使用する公用封筒を数種類提示して、自分たちの仕事が生徒生活に役立つことをわからせ、封筒印刷への意欲をひき出す。</li> <li>○ すでに印刷されている公用封筒の見本と対比させ、活字や罫などの大きさをきめさせる。</li> <li>○ 封筒は教師が準備する。</li> <li>○ 分担作業は、教師の補助を加えながら、適宜交代させる。</li> <li>○ 本刷り前に、用紙を使った印刷練習をさせ、各工程ごとのできばえを確かめ合わせる。</li> <li>○ 製品を汚さないように一枚ずつ丁寧に取り扱わせる。</li> <li>○ 作業の流れに応じて仕事を細分化し、分担以外の場面でも協力し合っ て仕事をすすめるようにする。</li> <li>○ 汚れた用具は灯油で洗浄させ、所定の位置に丁寧にそろえるように習慣づける。</li> <li>○ でき上がった封筒を100枚ずつ束ねて梱包させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見本封筒</li> <li>・活字見本</li> <li>・組み台</li> <li>・組み盆</li> <li>・文選箱</li> <li>・罫切機</li> <li>・整備工具</li> <li>・練習用紙</li> <li>・封筒</li> <li>・封筒数え板</li> <li>・整理箱</li> <li>・乾燥棚</li> <li>・灯油</li> <li>・古布</li> <li>・古新聞紙</li> <li>・封筒数え板</li> <li>・のり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社Ⅴ－5</li> <li>・職Ⅴ－1, 2</li> <li>・職Ⅳ－32</li> <li>Ⅴ－27</li> <li>31</li> <li>・生Ⅲ－5-4</li> <li>・社Ⅳ－8</li> <li>17</li> <li>・職Ⅳ－28</li> <li>35</li> <li>・職Ⅳ－1, 8</li> <li>11, 14</li> <li>Ⅴ－8</li> <li>・保Ⅴ－2-1</li> <li>4</li> <li>・数Ⅰ－9</li> <li>Ⅱ－2</li> <li>Ⅲ－3</li> <li>・美Ⅴ－9, 10</li> <li>・数Ⅱ－5</li> <li>Ⅴ－1</li> <li>・職Ⅴ－9</li> </ul>	

題材	年 賀 状 印 刷	月(時数)	10～12月(60時間)	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年賀状の受注印刷により物を作りあげる喜びを味わわせ、仕事への自信をもたせる。</li> <li>○ 自分なりの課題をもって作業に取り組み、互いに協力し合って、自分の分担をしっかりと果たす態度や習慣を身につけさせる。</li> </ul>			
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容	
1. 年賀状印刷について話し合う。 (1) 前年度の印刷見本を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷のスタイル</li> <li>・ 活字の大きさ、種類</li> </ul> (2) 作業計画をたてる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業工程と分担</li> <li>・ 分担ごとの準備</li> <li>・ 印刷目標</li> <li>・ 作業上の約束(服装, あいさつ, 報告, 聞き方等)</li> </ul> 2. 年賀状の見本をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタイル</li> <li>・ 活字の種類と大きさ</li> <li>・ 見本印刷と印刷案内</li> </ul> 3. 年賀状の印刷をする。 (1) 印刷の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の年賀状, 家の年賀状</li> </ul> (2) 受注印刷の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付名簿と注文受付</li> <li>・ 原稿の整理</li> <li>・ 納品書と領収証</li> </ul> (3) 受注印刷をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程ごとの分担作業</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">文選</div> <div style="margin-right: 5px;">……号数別,ポイント別</div> </div> <div style="margin-left: 20px;">↓</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">版組</div> <div style="margin-right: 5px;">……植字と組付</div> </div> <div style="margin-left: 20px;">↓</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度の印刷見本や出来高などを中心にして、年賀状印刷のようすを話し合わせる。</li> <li>○ 作業分担は、これまでの学習の状況をもとにして考えさせる。</li> <li>○ 年賀状印刷は、コース別の時間だけでなく校内実習へと発展させることをわからせ、最後までやりとげる意欲をもたせる。</li> <li>○ あいさつ文は、大きな活字で、本文と日付, 住所は5号で組ませる。</li> <li>○ 自分や家族の年賀状を素材にすることにより年賀状印刷への関心を深め受注印刷の態勢を確立する。</li> <li>○ 原稿は、見本のスタイルごとに整理させ、所定位置に保管させる。</li> <li>○ 各工程の作業要領を確かめ合い一人ひとりに分担作業を確実にしようとするめあてをもたせる。</li> <li>○ 活字は、号数ごとに縦組の場合はネッキを左へ、横組の場合は上へ向けて文選箱に整理させる。</li> <li>○ 文字数や行数によってバランスよく込物を配置させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度の印刷台帳見本綴</li> <li>・ 作業工程表</li> <li>・ 印刷用具一式</li> <li>・ 年賀状文例集</li> <li>・ 前年度の印刷案内文</li> <li>・ 保護者名簿</li> <li>・ 用紙</li> <li>・ クリップ</li> <li>・ 用箋挟</li> <li>・ 注文用紙</li> <li>・ 文選箱</li> <li>・ ピンセット</li> <li>・ 文選箱立</li> <li>・ チース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社Ⅴ－5</li> <li>・ 国Ⅴ－5</li> <li>・ 23</li> <li>・ 職Ⅴ－1,2</li> <li>・ 27</li> <li>・ 国Ⅴ－3</li> <li>・ 生Ⅲ－1-32</li> <li>・ 保Ⅴ－14</li> <li>・ 社Ⅴ－11</li> <li>・ 職Ⅴ－39</li> <li>・ 職Ⅱ－2,8</li> <li>・ Ⅴ－6</li> <li>・ 美Ⅴ－11</li> <li>・ 生Ⅲ－4-9</li> <li>・ 社Ⅴ－2</li> <li>・ 職Ⅴ－18</li> <li>・ 社Ⅴ－24</li> <li>・ 職Ⅴ－24</li> <li>・ 国Ⅴ－12</li> <li>・ 美Ⅴ－9</li> <li>・ 数Ⅱ－7,8</li> </ul>	



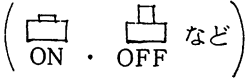
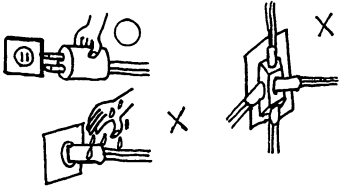
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD     A[印刷] --&gt; B[乾燥]     B --&gt; C[解版]           </pre> </div> <p>印刷 ……仮刷り, 本刷り 乾燥</p> <p>解版 ……活字, 込物, インテルの整理</p> <p>4. 納品する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>包装の仕方</li> <li>納品書や領収証の書き方</li> <li>注文主への納品</li> </ul> <p>5. 反省と後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分担作業と全体の出来高</li> <li>印刷機・諸用具の点検と整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はがき版の縦を5号活字で30～32倍を基準にして組ませる。</li> <li>針の位置, 胴圧, インクの濃淡などに気をつけ仕上りを確認し合う。</li> <li>ピンセットで活字面をきづつけないように気をつけさせる。</li> <li>全員ではがきの枚数を確かめ合った後, 納品書に記入させる。</li> <li>作業態度などを評価し合い, 一人ひとりの良い点, 協力し合った事を具体的にわからせて励まし合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>込物</li> <li>倍数尺</li> <li>乾燥台</li> <li>古新聞</li> <li>乾いた布</li> <li>文選箱</li> <li>込物箱</li> <li>ピンセット</li> <li>はがき数え板</li> <li>包装紙</li> <li>出来高表</li> <li>工具箱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数Ⅲ - 4</li> <li>職Ⅴ - 30</li> <li>理Ⅴ - 15</li> <li>数Ⅲ - 1,3</li> <li>5</li> <li>職Ⅴ - 9</li> <li>国Ⅴ - 5,14</li> <li>職Ⅴ - 12</li> <li>13, 14</li> <li>数Ⅱ - 1,2</li> <li>美Ⅴ - 10</li> </ul>
題材	用箋の印刷	月(時数)	1~2月(52時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>込やインテル・罫などの使い方を工夫しながら用箋の印刷ができるようにする。</li> <li>印刷から製本までの各工程における仕事の手順がわかり, 製品の良否に気をつけながら能率的に根気よく分担の仕事を果たす態度を養う。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>1. 用箋の印刷について話し合う。</p> <p>(1) 日常使われている用箋を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メモ帳, 罫紙, 便箋等</li> <li>用箋の大きさ, スタイル</li> </ul> <p>(2) 印刷計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自家用箋, 校用罫紙</li> </ul> <p>2. 印刷の準備をする。</p> <p>(1) 必要な道具を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行間と込物, 罫の種類</li> <li>罫切機や裁断機の使い方</li> </ul> <p>(2) 仕事の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の手順と分担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話メモ帳や連絡用箋など身近に使われる見本を提示して, 用箋の利用法をわからせ, 製作への意欲をもたせる。</li> <li>自分の家や学校で利用できる用箋を中心にしながら校内の職員から注文をとって印刷させる。</li> <li>込, インテル, 罫などは, 図式化した見本と対応させながら必要な込物, 罫を調べさせる。</li> <li>教師の手本により作業の流れをわからせ, 役割への見通しをもって</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>罫紙, 連絡用箋見本</li> <li>前年の組版見本</li> <li>罫の組み方図表</li> <li>用紙</li> <li>罫切機</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理Ⅴ - 13</li> <li>職Ⅳ - 2</li> <li>Ⅴ - 2,3</li> <li>31</li> <li>職Ⅴ - 5</li> <li>27</li> <li>国Ⅰ - 18</li> <li>Ⅳ - 13</li> <li>数Ⅰ - 7,9</li> <li>Ⅱ - 2,8</li> </ul>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 罫切と用紙の裁断</li> </ul> <p>3. 分担作業をする。</p> <p>(1) 組版をする。</p> <p>(2) 印刷をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮刷りと校正</li> <li>・ 本刷りと乾燥</li> </ul> <p>(3) 製本する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 穿孔機による穴あけ</li> <li>・ 用紙数え</li> <li>・ 製本ボンド塗り</li> <li>・ テープ切りとテープ張り</li> <li>・ 裁断機による化粧裁ち</li> </ul> <p>4. 後始末をする。</p> <p>(1) 完成品の数を調べる。</p> <p>(2) 器具を整理・整とんする。</p>	<p>仕事ができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行間は、見本と対比させながら込やクワタをきめさせ、バランスよく組版させる。</li> <li>○ インクを混ぜ合わせて、各種の色で刷らせる。</li> <li>○ 用途によって、50枚束、100枚束の用紙をそろえて製本ボンドで固定させる。</li> <li>○ 裁断機は、必ず教師が付き添って操作させ、安全に留意する。</li> <li>○ 製品の一部を家庭に持ち帰らせて完成の喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業工程表</li> <li>・ 組盆</li> <li>・ 組台</li> <li>・ 古新聞紙</li> <li>・ 乾燥台</li> <li>・ 穿孔機</li> <li>・ 数え補助板</li> <li>・ 製本ボンド</li> <li>・ 用紙固定板</li> <li>・ 製本テープ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美Ⅴ－9</li> <li>・ 職Ⅳ－29</li> <li>31</li> <li>・ 社Ⅴ－8</li> <li>・ 職Ⅳ－8</li> <li>14, 20</li> <li>35</li> <li>・ 美Ⅴ－9</li> <li>・ 数Ⅲ－1, 3</li> <li>・ 職Ⅴ－15</li> <li>16</li> <li>・ 美Ⅱ－12</li> <li>・ 職Ⅴ－13</li> </ul>
題材	印刷室の整備		月(時数)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 印刷機械や器具の手入れ法がわかり、作業室の整理・整とんができるようにする。</li> <li>○ 一年間の反省を通して、互いに頑張ったことを認め合い、自信をもって積極的に仕事に取りかかる態度を養う。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
<p>1. 印刷室の整理・整とんをする。</p> <p>(1) 印刷機の手入れをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚れの洗浄</li> <li>・ 注油孔やねじ部への注油</li> </ul> <p>(2) 活字、込物の整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活字ケースの点検と整理</li> <li>・ 活字、込、インテルの分類</li> <li>・ 組版枠木の整理</li> </ul> <p>(3) 製品見本を整理する。</p> <p>2. 年間の反省をする。</p> <p>(1) 工程や分担ごとに反省する。</p> <p>(2) 次年度への抱負を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各印刷機ごとに分担をきめ、責任をもたせて各部の汚れをきちんと洗浄させる。</li> <li>○ ローラーは、取りはずして保管する。</li> <li>○ 活字ケースのタイトルにそって間違った返しなどを総点検させ、号数や種類ごとに修正させる。</li> <li>○ グループや個人ごとに良かった点や頑張ったことを反省・評価し合い次年度への意欲をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備工具</li> <li>・ 灯油</li> <li>・ 古布</li> <li>・ 国語辞典</li> <li>・ 込物箱</li> <li>・ 文選箱</li> <li>・ 作品見本綴</li> <li>・ 評価カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国Ⅴ－9,10</li> <li>・ 理Ⅴ－15</li> <li>・ 職Ⅴ－12</li> <li>13, 24, 29</li> <li>・ 国Ⅴ－12</li> <li>・ 数Ⅱ－2, 8</li> <li>・ 社Ⅴ－5, 24</li> <li>・ 職Ⅴ－2</li> </ul>

## 高等部共通コース

題材	春野菜の植えつけ	月(時数)	4～5月(8時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農耕に必要な道具や機械の使い方に慣れさせるとともに、安全に留意して作業する態度を養う。</li> <li>○ 春植え野菜に興味を持たせ、栽培管理や収穫の喜びを味わわせる。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 植えつけの準備をする。 (1) 耕す。 ・ くわ    ・ 耕運機 (2) 除草する。 (3) 施肥する。 ・ 堆肥    ・ 化学肥料 2. 播種や植えつけをする。 (1) えだ豆, いんげん, 落花生などの種まきをする。 (2) レタス, キュウリ, ピーマンなどの苗を植える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石灰やロープで耕す場所を示し、安全に作業させる。</li> <li>○ 耕運機の操作は、指導者と一諸にさせる。</li> <li>○ 個人やグループで除草した量を競争させる。</li> <li>○ 植えつけやすいようにロープや木や竹の利用を工夫する。</li> <li>○ 日常活動として管理させる。</li> <li>○ 適宜収穫して喜びを味わわせたり宿泊学習に利用させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石灰</li> <li>・ ロープ</li> <li>・ くわ</li> <li>・ 耕運機</li> <li>・ 移植ごて</li> <li>・ バケツ</li> <li>・ 植えつけロープ</li> <li>・ 種子や苗</li> <li>・ 学級札</li> <li>・ 名前札</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職Ⅳ－13</li> <li>・ 職Ⅳ－30</li> <li>・ 自Ⅲ－2</li> <li>・ 理Ⅳ－23</li> <li>・ 理Ⅴ－23</li> </ul>	
題材	宿泊学習の調理	月(時数)	6～7月(10時間)	
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宿泊学習の献立を立てたり調理実習をしたりして、自分たちにできる簡単な日常食の調理法を理解させ、すすんで調理をしようとする態度を養う。</li> </ul>			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 宿泊学習の献立を話し合う。 (1) 家庭や給食の献立を調べる。 (2) これまでの宿泊学習の献立を調べる。 (3) 宿泊学習の献立を立てる。 2. 調理をする。 (1) 準備をする。 ・ 材料の見積もり    ・ 用具 ・ 買い物    ・ かまどづくり (2) 調理と会食をする。 ・ ごはん    ・ みそ汁ほか (3) 後始末をする。 3. 宿泊学習の調理の準備をする。 4. 宿泊学習の後始末をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの食事や調理経験などからいろいろな食品や調理法の組み合わせがあることに気づかせる。</li> <li>○ 季節や費用などを考えさせ、自分たちにできる献立を立てさせる。</li> <li>○ 調理は班ごとに責任をもたせる。</li> <li>○ 買い物やかまどづくりなどは生活単元学習との関連を図る。</li> <li>○ 調理の手順を絵や表で示し、仕事内容をわかりやすくしておく。</li> <li>○ 包丁や火の取り扱いには十分気をつけさせる。</li> <li>○ 宿泊学習の調理材料や用具の準備後始末等を班ごとにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食の献立表</li> <li>・ 基礎食品群表</li> <li>・ 宿泊学習のしおり</li> <li>・ 手順表</li> <li>・ 調理用具</li> <li>・ 安全な取り扱いの表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家Ⅳ－9</li> <li>・ 家Ⅳ－15</li> <li>・ 生Ⅲ<sub>8</sub>－2,3</li> <li>・ 数Ⅴ－1</li> <li>・ 家Ⅳ－17</li> <li>・ 家Ⅳ－18</li> <li>・ 家Ⅳ－21</li> <li>・ 家Ⅳ－12</li> <li>・ 家Ⅳ－13</li> </ul>	

題 材	わたしたちの身なり	月(時数)	9月(8時間)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 衣服の整った着方や簡単な手入れ法を理解させ、自分の身なりは自分で整えようとする態度を育てる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1. 衣服の着方について話し合う。 (1) 制服や体育服, 日常着の着方を調べる。 (2) 身支度と整え方を調べる。 2. 衣服の手入れをする。 (1) いろいろな手入れ法を調べる。 (2) 洗濯をする。 (3) ほころび直しやボタンつけをする。 (4) アイロンをかける。 (5) 衣服のしまい方を調べる。 3. よい身なりについてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際の着装活動を通してよい着方を考えさせる。季節による衣服の違いや衣服の調節, 身体の清潔なども関連して調べさせる。</li> <li>○ 手入れについては, たたむ, ブラッシングなどの簡単なものから取り扱っていく。</li> <li>○ 洗濯は手洗い, 洗濯機洗いの両方を取り扱う。</li> <li>○ 洗濯機, 針, アイロンなどの安全な取り扱いに留意する。</li> <li>○ 自分の身なりを自分で整えるためにできることをまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服や日常着など</li> <li>・四季の着衣写真</li> <li>・ブラシ</li> <li>・衣服類</li> <li>・ハンカチ</li> <li>・くつ下</li> <li>・裁縫用具</li> <li>・アイロン</li> <li>・手入れ表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家Ⅳ－1</li> <li>・家Ⅴ－3</li> <li>・家Ⅴ－4</li> <li>・生Ⅲ<sub>6</sub>－7</li> <li>・家Ⅴ－6</li> <li>・家Ⅴ－8</li> <li>・家Ⅳ－4</li> <li>・家Ⅳ－2</li> <li>・家Ⅴ－1</li> </ul>
題 材	箸おきの製作	月(時数)	10月(6時間)
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 箸おきの製作を通して, 製品を完成する喜びを味わわせるとともに, 意欲的に作業をやり遂げようとする態度を育てる。</li> <li>○ いろいろな用具の使い方を理解させるとともに, 型抜き, 接合などの成形作業に必要な基本的技能を身につけさせる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1. 箸おきの製作について話し合う。 (1) 箸おきの条件を考える。 (2) 製作の手順と方法を知る。 (3) 作業の全体目標を決める。 2. 箸おきの製作をする。 (1) 必要な用具を準備する。 (2) 個々の出来高目標を決める。 (3) 製作をする。 ・土づくり ・型抜き ・乾燥 ・素焼き ・釉かけ ・本焼き ・品質検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 製品見本や, 手順を図表化して示すことで, 作業への興味・関心, 見通しをもたせる。</li> <li>○ 出来高板を準備して個々の能力に応じた目標を設定する。</li> <li>○ 製品見本を示して, 丁寧な作業によって良い製品が作れることに気づかせる。</li> <li>○ 検査上の弁別が容易となるよう弁別見本板を準備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品見本</li> <li>・手順表</li> <li>・出来高板</li> <li>・粘土</li> <li>・型ワク</li> <li>・粘土板</li> <li>・たたら板</li> <li>・釉薬</li> <li>・筆</li> <li>・弁別見本板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職Ⅴ－1</li> <li>・職Ⅴ－27</li> <li>・美Ⅴ－4,6 9</li> <li>・職Ⅴ－3,7 8,30</li> </ul>

主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
(4) 製品の包装をする。 (5) 用具の後始末をする。 3. 学習のまとめと反省をする。 (1) 出来高調べ (2) 取り組みへの反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>包装は厚紙に五本セットにした箸おきをゴムでとめる方法をとる。</li> <li>評価表によって作業態度への自己評価をさせ、学習への反省材料とさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職Ⅴ－9,13</li> <li>美Ⅴ－10</li> <li>職Ⅴ－2</li> </ul>
題材	家庭電気機器の取り扱い方	月(時数)	11～12月(8時間)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な家庭電気機器の正しい使い方に慣れさせるとともに、電気機器を安全に取り扱う知識や技能を身につけさせる。</li> </ul>		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1. 身近な家庭電気機器について調べる。 ・懐中電灯 ・アイロンなど  2. 乾電池使用の機器を操作する。 (1) 乾電池のつなぎ方を調べる。 ・豆球回路 ・ブザー回路など ・⊕⊖の見分け方 (2) 乾電池の入れ替え方を調べる。 ・懐中電灯 ・ラジオなど  3. 家庭電源使用の機器を操作する。 (1) 正しい使い方について調べる。 ・スイッチ類の操作 (  など ) ・取り扱い説明書の見方 ( 悪い使用法の欄 ) (2) 安全な使い方について調べる。 ・断線防止 ・感電防止 ・たこ足配線の禁止 	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭電源を使用するものと乾電池を使用するものがあることに気づかせる。</li> <li>回路には、電池ボックスを2個つないでおき、電池どうしの接続法をわからせる。</li> <li>機器に表示されているマークの意味をわからせ、⊕と⊖に気をつけて入れ替えさせる。</li> <li>身近にある機器を実際に操作させスイッチ類の表示マークの意味をわからせる。</li> <li>取り扱い説明書の中には・悪い使い方が×で示されていることをわからせる。</li> <li>コンセントからプラグを抜く場合はかならずプラグを持たせる。</li> <li>ぬれた手でプラグを操作しないように注意する。</li> <li>新聞やTVニュース等の記事から電気機器が原因となる火災があることをわからせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>懐中電灯</li> <li>アイロン</li> <li>豆球</li> <li>ブザー</li> <li>乾電池</li> <li>コード</li> <li>懐中電灯</li> <li>ラジオ</li> <li>洗濯機</li> <li>掃除機他</li> <li>プラグ</li> <li>断線コード見本</li> <li>新聞記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国Ⅴ－10</li> <li>社Ⅳ－26</li> <li>生Ⅲ－9-12</li> <li>生Ⅲ－3-8</li> <li>音Ⅰ－7</li> <li>理Ⅴ－12</li> <li>生Ⅲ－6-9</li> <li>理Ⅴ－9</li> <li>職Ⅴ－11</li> <li>生Ⅲ－2-10</li> <li>職Ⅳ－12</li> </ul>

題材	冬の料理	月(時数)	1月(6時間)	
目標	○ いろいろな冬の献立を調べたり、簡単な調理をしたりして、冬の料理への関心を高め、すすんで調理をしようとする態度を養う。			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 冬の料理について話し合う。 (1) いろいろな冬の料理を調べる。 (2) 特性を考える。 ・ 調理法 ・ 材料など 2. 調理をする。 (1) 献立を立てる。 (2) 仕事を分担する。 (3) 材料や用具を準備する。 (4) 調理をする。 (例) すき焼き、茶わん蒸し おでん、ぜんざいなど (5) 会食をする。 (6) 後始末をする。	○ 絵や写真、毎日の食事等から冬の料理を調べさせ、しゅんの材料をたっぷり使った暖かい料理の多いことに気づかせる。 ○ 献立作成にあたっては、費用、調理の難易度、材料の種類等に留意して立てさせる。 ○ 調理時の衛生や包丁、ガスなどの安全な取り扱いに留意する。 ○ 配膳の仕方、食事のマナー、対応の仕方などに気をつけて楽しい会食をさせる。	・料理の絵や写真 ・分担表 ・調理用具 ・安全な取り扱いの表示	・家Ⅳ-15 ・家Ⅴ-16 ・生Ⅱ <sub>1</sub> -9 ・生Ⅲ <sub>g</sub> -3 ・職Ⅳ-29 ・家Ⅳ-14 ・家Ⅳ-21 ・家Ⅳ-17 ・家Ⅴ-18 ・家Ⅳ-10	
題材	記念品の製作	月(時数)	2~3月(12時間)	
目標	○ 卒業や進級を記念した木工作品の製作を通して、工具の使い方に慣れさせるとともに、互いに協力しあって作品を完成させる喜びを味わわせる。			
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容	
1. 記念品製作について話し合う。 (1) 製作品を決める。 〈例〉花びんしき・整理箱など (2) 材料や工具を準備する。 ・ 略構想図 ・ 木材 ・ 釘 ・ かなづち ・ のこぎりなど 2. 製作をする。 (1) 部品加工をする。 (2) 組み立てをする。 (3) 塗装をする。 (4) 後始末をする。 3. 作品鑑賞をする。 4. 工具の手入れをする。 ・ 油引き	○ 作品見本を参考にして、製作するものを決めさせる。 ○ 生徒の意見を取り入れた略構想図を作り作品のイメージ化を図る。 ○ 作品模型により必要な部品をわからせる。 ○ 個々に各工程を経験させる。 ○ のこぎり引きや釘打ちなどは互いに補助させる。 ○ 期日・製作者名は一人ひとり記入させる。 ○ 互いに出来ばえを評価させる。 ○ よくほこりを落とさせて油引きさせる。	・作品見本 ・略構想図 ・作品模型 ・工具 ・材料 ・塗料 ・筆 ・はけ ・油 ・古布	・職Ⅳ-2 ・職Ⅴ-6 ・数Ⅲ-4 ・生Ⅲ-5-4 ・数Ⅳ-10 ・社Ⅳ-8 ・職Ⅳ-14 ・図Ⅲ-11 ・職Ⅴ-13	